

# 平成24年度

一 般 会 計  
国民健康保険特別会計  
白石町 後期高齢者医療特別会計 決算説明報告書  
農業集落排水特別会計  
特定環境保全公共下水道特別会計

佐賀県白石町

## 決算説明報告書の編集にあたって

1. この報告書は、平成24年度に実施した主要な事業の成果について決算書の款・項・目ごとに記載したものであります。
2. 主要な事業についての説明でありますので、決算額（予算額）欄の計数については、決算書の目の合計と一致しない場合があります。
3. この報告書は、地方自治法第233条第5項に規定する「主要な施策の成果を説明する書類」として位置するものであります。

## 目 次

・平成24年度決算指標等・健全化判断比率・資金不足比率	1	・介護保険事業	27
・歳入に関する増減額調	2	・敬老の日記念事業	28
・性質別経費に関する増減額調	3	・介護予防事業	29
<b>(総務課)</b>		・予防給付策定事業	30
・白石町長・町議会議員選挙費	4	・障害者自立支援給付費	31
・衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査費	5	・相談支援事業	32
・消防施設整備費	6	・地域活動支援センター機能強化事業	33
・防災費	7	<b>(生活環境課)</b>	
<b>(税務課)</b>		・太陽光発電導入推進事業	34
・個人町民税	8	・容器包装廃棄物再商品化事業	35
・法人町民税	9	・一般廃棄物収集運搬業務(クリーンセンター搬入分)	36
・固定資産税	10	・容器包装廃棄物収集運搬業務	37
・軽自動車税	11	<b>(水道課)</b>	
・町たばこ税	12	・上水道高料金対策補助金	38
<b>(企画課)</b>		<b>(下水道課)</b>	
・コミュニティタクシー運行事業	13	・浄化槽整備推進事業	39
・生活交通路線欠損補助事業	14	<b>(産業課)</b>	
・コミュニティ助成事業	15	・戸別所得補償経営安定推進事業	40
<b>(保健福祉課)</b>		・農業振興地域整備計画費	41
・児童手当	16	・担い手農地集積促進事業	42
・地域子育て支援事業	17	・さかの米・麦・大豆競争力強化対策事業	43
・学童保育事業	18	・農業者戸別所得補償制度推進事業	44
・子どもの医療事業	19	・さかの強い園芸農業確立対策事業	45
・小学生・中学生医療事業	20	・産地競争力強化事業	46
・医療費助成制度PR事業(緊急雇用対策)	21	・新規就農総合支援事業	47
・保育園管理費(保育園施設改修事業)	22	・スクミリンゴガイ駆除対策事業	48
・母子健康診査事業	23	・有明佐賀空港夜間貨物便基金畜産振興事業	49
・予防接種事業	24	・繁殖雌牛導入事業費補助金	50
・成人検診事業	25	・しろいしブランド確立対策事業	51
<b>(長寿社会課)</b>		・まちの元気づくりプロジェクト支援事業	52
・高齢者在宅福祉事業	26	・まちおこし事業補助金	53
		・白石町情報発信事業(緊急雇用対策)	54

<b>(農村整備課)</b>	
・地盤沈下対策事業負担金	..... 55
・筑後川下流土地改良事業推進事業費	..... 56
・基幹水利施設ストックマネジメント事業	..... 57
・地域農業水利施設ストックマネジメント事業	..... 58
・農業体質強化基盤整備促進事業	..... 59
・県営地域水田農業支援緊急整備事業	..... 60
・県営地域水田農業再編緊急整備事業	..... 61
・農地・水保全管理支払交付金・共同活動支援事業	..... 62
・農地・水保全管理支払交付金・向上活動支援事業	..... 63
・農道整備事業	..... 64
・重要森林公的管理支援事業	..... 65
・漁港整備事業(新有明漁港)	..... 66

<b>(土木管理課)</b>	
・橋梁長寿命化計画策定業務	..... 67
・住宅リフォーム緊急助成事業	..... 68
・町営住宅建設事業	..... 69

<b>(建設課)</b>	
・分譲住宅地周辺道路整備事業	..... 70
・社会資本整備総合交付金事業	..... 71
・道路新設改良費	..... 72
・交通安全施設費	..... 73

<b>(学校教育課)</b>	
・学校教育支援員配置事業	..... 74
・新学習指導要領移行措置事業	..... 75
・ICT支援員等派遣事業(緊急雇用対策)	..... 76
・適応指導教室事業	..... 77
・学校施設改修費(小学校)	..... 78
・学校施設改修費(中学校)	..... 79

<b>(生涯学習課)</b>	
・小学生リーダー育成事業	..... 80
・ロードレース大会(歌垣の郷ロードレース大会)	..... 81
・町スポーツ大会費	..... 82

<b>【しろいしみのり枠事業一覧】</b>	
・公用車管理費(電気自動車購入)(財政課)	..... 84
・ご当地ナンバー作成事業(税務課)	..... 85
・しろいし食育まつり事業(保健福祉課)	..... 86
・プレミアム付き商品券発行事業(産業課)	..... 87

<b>《特別会計》</b>	
・国民健康保険特別会計	..... 88~96
・後期高齢者医療特別会計	..... 97
・農業集落排水特別会計	..... 98
・特定環境保全公共下水道特別会計	..... 99

地方財政状況調査(決算統計)による財政分析及び健全化判断比率・資金不足比率

○ 平成24年度決算指標等

指標等	平成23年度	平成24年度
経常収支比率	83.0	84.5
うち人件費	27.4	27.4
うち物件費	9.3	9.0
うち扶助費	5.5	6.4
うち補助費等	10.3	10.4
うち公債費	17.8	17.9

実質収支比率	3.7	3.4
--------	-----	-----

標準財政規模	8,276,671	8,155,603
--------	-----------	-----------

財政力指数	0.324	0.325
-------	-------	-------

実質公債費比率	10.2	9.1
---------	------	-----

○ 健全化判断比率（財政健全化法による指標）

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
平成24年度決算に基づく比率	—	—	9.1	1.6
早期健全化基準	13.71	18.71	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	—

実質赤字比率から将来負担比率までの4指標のうち、いずれかが「早期健全化基準」あるいは「財政再生基準」を超えると、「財政健全化計画」あるいは「財政再生計画」を策定し、財政の立て直しを行わなければならない。

○ 公営企業会計に係る資金不足比率（財政健全化法による指標）

区分	公営企業会計	資金不足比率
平成24年度決算に基づく比率	水道事業会計	—
	農業集落排水特別会計	—
	特定環境保全公共下水道特別会計	—
経営健全化基準		20.0

資金不足比率が「経営健全化基準」を超えると、「経営健全化計画」策定することとなる。上記の各公営企業会計とも「黒字」であったため、資金不足比率は算定されない。

歳入に関する増減額調

区 分	23年度 決算額 A	24 年 度		
		決算額 B	増減額 C = B - A	増減率 C/A
1 地方税	2,161,668	2,078,251	△ 83,417	△ 3.9
2 地方譲与税	162,707	152,110	△ 10,597	△ 6.5
3 各種交付金	238,517	244,718	6,201	2.6
うち地方消費税交付金	202,916	201,796	△ 1,120	△ 0.6
4 地方特例交付金	36,061	5,803	△ 30,258	△ 83.9
5 地方交付税	5,749,098	5,618,579	△ 130,519	△ 2.3
(1)普通交付税	5,196,019	5,116,881	△ 79,138	△ 1.5
(2)特別交付税	553,076	501,698	△ 51,378	△ 9.3
(3)震災復興特別交付税	3	0	△ 3	皆減
6 使用料・手数料	247,354	251,122	3,768	1.5
7 国庫支出金	1,184,937	1,301,157	116,220	9.8
うち普通建設事業費支出金	295,860	456,709	160,849	54.4
8 県支出金	1,793,057	1,040,996	△ 752,061	△ 41.9
9 繰入金	127,843	516,355	388,512	303.9
10 繰越金	285,005	333,334	48,329	17.0
11 地方債	714,000	848,400	134,400	18.8
うち減税補てん債	0	0	0	-
うち臨時財政対策債	527,800	495,100	△ 32,700	△ 6.2
12 その他	594,256	651,545	57,289	9.6
うち諸収入中貸付金元利収入	57,706	50,010	△ 7,696	△ 13.3
歳入合計(1~12)	13,294,503	13,042,370	△ 252,133	△ 1.9
うち一般財源	8,348,051	8,099,461	△ 248,590	△ 3.0

※ 平成24年度 地方財政状況調査表より

性質別経費に関する増減額調

区 分	23年度 決算額 A	24 年 度		
		決算額 B	増減額 C = B - A	増減率 C/A
1 義務的経費	5,275,616	5,397,741	122,125	2.3
(1) 人件費	2,506,850	2,443,324	△ 63,526	△ 2.5
(イ) うち職員給	1,554,334	1,526,954	△ 27,380	△ 1.8
うち基本給	1,096,794	1,072,195	△ 24,599	△ 2.2
うちその他の手当	457,540	454,759	△ 2,781	△ 0.6
(ロ) うち退職金	304,652	291,062	△ 13,590	△ 4.5
(2) 扶助費	1,259,852	1,336,404	76,552	6.1
(3) 公債費	1,508,914	1,618,013	109,099	7.2
2 投資的経費	2,664,583	2,424,369	△ 240,214	△ 9.0
うち普通建設事業費	2,664,566	2,424,369	△ 240,197	△ 9.0
(イ) うち補助事業費	1,720,234	1,586,620	△ 133,614	△ 7.8
(ロ) うち単独事業費	734,327	628,251	△ 106,076	△ 14.4
3 その他の経費	5,020,970	4,831,846	△ 189,124	△ 3.8
(1) うち物件費	1,329,719	1,360,628	30,909	2.3
(2) うち補助費等	1,518,388	1,455,273	△ 63,115	△ 4.2
(3) うち積立金	788,413	621,171	△ 167,242	△ 21.2
(4) うち貸付金	51,500	51,500	0	0.0
(5) うち繰出金	1,262,848	1,265,698	2,850	0.2
歳出合計 (1~3)	12,961,169	12,653,956	△ 307,213	△ 2.4

※ 平成24年度 地方財政状況調査表より

# 一般会計



年度	24	会計	一般会計								
款	2	項	4	目	6	細事業名	白石町長・町議会議員選挙費			所属	総務課
目 名 称	白石町長・町議会議員選挙費					財源内訳					
目の決算額	11,931					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁
決算額	11,931									11,931	63・64
(予算額)	( 12,775 )										
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 5 章		参加と交流で築く開かれたまち【町民参加】			基本計画 第 2 節		健全な財政運営の推進	

1 事業概要

告示日	・平成25年1月22日(火) ※2月5日任期満了に伴うもの
選挙期日	・平成25年1月27日(日) ※町議会議員選挙は無投票

2 事業実績

節	金額	説 明	
1. 報酬	656	投票管理者	184
		投票立会人	354
		選挙長	21
		選挙立会人	97
3. 職員手当等	5,638	時間外勤務手当(選挙準備事務、投開票事務)	5,626
		管理職特別勤務手当	12
7. 賃金	113	日々雇用職員賃金(選挙準備事務)	113
9. 旅費	11	出席費用弁償(選挙管理委員会委員)	11
11. 需用費	1,863	消耗品費(ポスター掲示場・選挙事務用品)	1,350
		燃料費(灯油代)	20
		食糧費(投票管理者・立会人弁当代)	70
		印刷製本費(入場券印刷代)	423
12. 役務費	1,920	通信運搬費(入場券郵送料等)	1,383
		手数料(枚数計数機等点検手数料)	537
13. 委託料	1,648	ポスター掲示場設置撤去委託料	1,420
		選挙広報配布委託料	228
14. 使用料及び賃借料	82	会場(投開票所)借上料	30
		その他借上料(車椅子・スロープ・コピー機・FAX)	52
合 計	11,931		

3 事業効果

平成25年1月27日執行の白石町長選挙・白石町議会議員選挙に関し、公職選挙法に基づき町選挙管理委員会が行う選挙事務を適切に執行した。

単位:千円

年度	24	会計	一般会計			細事業名	衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査費	所属	総務課		
款	2	項	4	目	3						
目 名 称	衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査費										
目 の 決 算 額	13,714					財源内訳					
決算額 (予算額)	13,714 ( 13,724 )					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁 62・63
							13,196			518	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		基本構想 第 5 章		参加と交流で築く開かれたまち【町民参加】		基本計画 第 2 節		健全な財政運営の推進			

1 事業概要

公 示 日	・平成24年12月4日(火) ※11月16日衆議院解散に伴うもの
選 挙 期 日	・平成24年12月16日(日)

2 事業実績

節	金額	説 明	
1. 報酬	781	投票管理者	221
		投票立会人	487
		開票管理者	11
		開票立会人	62
3. 職員手当等	6,732	時間外勤務手当(選挙準備事務、投開票事務)	6,720
		管理職特別勤務手当	12
7. 賃金	139	日々雇用職員賃金(選挙準備事務)	139
9. 旅費	12	出席費用弁償(選挙管理委員会委員)	12
11. 需用費	847	消耗品費(選挙事務用品)	693
		燃料費(灯油代)	12
		食糧費(投票管理者・立会人弁当代)	80
		印刷製本費(入場券印刷代)	62
12. 役務費	1,439	通信運搬費(入場券郵送料等)	1,004
		手数料(枚数計数機等点検手数料)	435
13. 委託料	669	ポスター掲示場設置撤去委託料	441
		選挙広報配布委託料	228
14. 使用料及び賃借料	134	会場(投票所)借上料	10
		その他借上料(車椅子・スロープ・コピー機・FAX)	124
18. 備品購入費	2,961	投票用紙計数機(6台)・読取機スタッカー(1台)	2,961
合 計	13,714		

3 事業効果

平成24年12月16日執行の衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査に関し、公職選挙法に基づき町選挙管理委員会が行う選挙事務を適切に執行した。

単位:千円

年度	24	会計	一般会計									
款	9	項	1	目	3	細事業名	消防施設整備費			所属	総務課	
目 名 称	消防施設費											
目 の 決 算 額	18,062					財源内訳				決算書頁		
決算額	12,476 (予算額) ( 15,817 )					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	121・122	
									12,476			

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】	基本計画 第 2 節	災害に強く安全・快適な生活環境の整備
-------------------------------	---------------	------------------------	---------------	--------------------

1 事業概要

町民の生命・財産を守り初期消火に努め、消防力の向上を目的として、消防格納庫新設工事1ヶ所、消防ホース乾燥塔設置工事2ヶ所、小型動力ポンプ積載車1台、小型動力ポンプ1台、消防用ホース格納箱5個、消火栓設置2ヶ所の整備を行った。

2 事業実績

科目	内容	契約者	金額
役務費	建築確認申請・完了検査手数料	佐賀県	21,000円
委託料	格納庫設計管理委託料	諸岡建築設計事務所	441,000円
	下水道接続工事設計委託料	諸岡建築設計事務所	126,000円
工事請負費	消防格納庫舗装工事(白石1-1・白石4-5)	榑肥前道路	1,550,850円
	消防格納庫新設工事(白石3-3)	川崎建設	3,780,000円
	消防ホース乾燥塔(白石2-1・白石4-2)	榑門田電気	1,017,450円
備品購入費	小型動力ポンプ積載車(有明3-5)	(株)サガハツ	2,809,800円
	小型動力ポンプ(有明3-5)	(株)サガハツ	1,496,250円
投資及び出資金	消防用ホース格納箱	(株)ナカムラ消防化学	353,850円
	消火栓設置出資金	白石町水道事業	879,000円

3 事業効果

消防施設の更新又は整備に伴い、消防力水準の向上を図ることができた。

単位:千円

年度	24	会計	一般会計			細事業名	防災費					所属	総務課
款	9	項	1	目	4		防災費						
目 名 称	防災費					財源内訳					決算書頁		
目の決算額	5,662					国庫	県費	地方債	その他	一般財源			
決算額 (予算額)	1,898 ( 2,473 )									1,898	122-123		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 1 章		ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 2 節		災害に強く安全・快適な生活環境の整備			

1 事業概要

防災意識の啓発、防災訓練及び備蓄品の購入等、白石町地域防災計画に基づいた防災対策を計画的に行った。

2 事業実績

(1)事業内容

項目	実施(購入)日	内容
防災会議	平成24年5月24日	・平成25年度白石町水防計画、避難判断マニュアル
防災訓練	平成24年9月23日	・実施地区 有明東小学校区 ・参加者 約390名
避難判断マニュアル	平成24年9月全戸配布	・様々な災害や武力攻撃等から身を守るための避難について記載
放射線線量計	平成25年2月5日	・2台購入
災害時用備蓄品	平成25年3月12日	・アルファ米1,800食 ・保存水 1,200L

(2)事業費

科目	内容	金額
報酬	防災会議委員報酬	36,000円
旅費	防災会議委員費用弁償	6,000円
需用費	避難判断マニュアル印刷製本・災害時用備蓄品購入	953,865円
役務費	緊急電話通賃料	62,247円
備品購入	放射線線量計購入 2台	779,100円
負担金、補助及び交付金	水難救済会負担金	60,000円

3 事業効果

初動体制の確立、町民への情報提供の充実又は防災の啓発を行い、町民の生命、身体及び財産を災害から保護することに努め、被害を最小限に抑えた。

単位:千円

年度	24	会計	一般会計 歳入			細 事 業 名	個人町民税	所 属	税 務 課	
款	1	項	1	目	1					
目 名 称	個人町民税					財 源 内 訳				
目の決算額	827,983					国 庫	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
決 算 額	827,983									決算書頁
( 予 算 額 )	( 807,200 )									
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		基本構想 第 5 章		参加と交流で築く開かれたまち【町民参加】			基本計画 第 2 節		健全な行財政運営の推進	

1 事業概要

趣 旨

個人町民税・県民税(住民税)は、「地域社会における様々な行政サービスの提供にあたって必要となる費用を、広く町民の皆様から、その能力に応じて負担していただく」という性格を持った税金で、その年の1月1日現在に居住していた市町村において、前年中の所得金額に応じて課税される地方税。

税の内容

【課税団体】 住所所在地の市町村又は事務所、事業所もしくは家屋敷所在の市町村(法2)

【納税義務者】 ① 町内に住所を有する個人.....個人の均等割額及び所得割額の納税義務を負う。(法294①I)

② 町内に事務所、事業所または家屋敷を有する個人で、町内に住所を有しない者.....個人の均等割額のみ納税義務を負う。(法294①II)

【賦課期日】 当該年度の初日の属する年の1月1日(法318)

【申告】 前年中所得を賦課期日現在の住所所在地の市町村に道府県民税及び市町村民税に関する申告書を提出しなければならない。(法317の2①)

【税率】 均等割 町民税 3,000円  
(法310、38) 県民税 1,500円

所得割 (法314の3,35)

	標準税率
町民税	6%
県民税	4%

【徴収方法】 普通徴収および特別徴収(給与特徴、年金特徴)の2つの方法。

2 事業実績

① 現年度課税分

● 収納状況

(単位:円)

年度	調 定 額	収入決算額	不納欠損額	徴収率	収入未済額
H19年度	815,463,517	799,642,054	0	98.06%	15,821,463
H20年度	824,196,224	805,727,717	0	97.76%	18,468,507
H21年度	852,500,998	839,388,573	0	98.46%	13,112,425
H22年度	851,358,900	840,492,035	0	98.72%	10,866,865
H23年度	857,515,583	845,448,268	0	98.59%	12,067,315
H24年度	823,081,004	815,216,889	22,597	99.04%	7,841,518

② 滞納繰越分

● 収納状況

(単位:円)

年度	調 定 額	収入決算額	不納欠損額	徴収率	収入未済額
H19年度	23,203,766	6,987,447	218,449	30.11%	15,997,870
H20年度	29,866,054	11,412,866	276,965	38.21%	18,176,223
H21年度	36,475,594	13,222,068	4,254,315	36.25%	18,999,211
H22年度	32,040,399	11,736,972	749,624	36.63%	19,553,803
H23年度	30,265,395	13,502,365	1,063,668	44.61%	15,699,362
H24年度	27,339,467	12,766,059	547,243	46.69%	14,026,165

年度	24	会計	一般会計 歳入		単位:千円									
款	1	項	1	目	2	細事業名			法人町民税	所 属	税務課			
目 名 称	法人町民税					財 源			内 訳					
目の決算額	81,009					国 庫	県 費	地 方 債	そ の 他	一般財源				
決 算 額	81,009													
( 予 算 額 )	( 75,100 )													
白石町総合計画 (人と大地がうらおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第5章			参加と交流で築く開かれたまち【町民参加】			基本計画 第2節			健全な行財政運営の推進		

1 事業概要

趣 旨 法人等の町民税は、白石町内に事務所や事業所などを有する法人や、人格のない社団等に課税される税金。個人の町民税と同様に均等割と、国税である法人税の額に応じて負担する法人税割とがある。

税の内容

- 【納税義務者】 ①町内に事務所、事業所がある法人  
②町内に事務所、事業所はないが、寮・宿泊所などがある法人  
③町内に事務所、事業所、寮などがある法人でない社団または財団で、代表者または管理人の定めのあるもの（収益事業を行うものを除く）
- 【課税標準】 法人税法により算出した法人税額が基本（各事業年度の所得金額及び退職年金等積立金の額及び清算所得金額。）

【税率】 所得割額 標準税率……12.3% 均等割額 税率 → (制限税率……14.7%)

【申告・納付】 各々の法人が定める事業年度終了後2か月以内に法人が自ら税額を計算し、町内の主たる事務所等が所在する町役場へ申告してその税額を納めます。

区 分	資本金の金額	従業員数	税率(年額)	法人数
第9号法人	50億円を超える	50人超	300万円	2
第8号法人	10億円を超え50億円以下	50人超	175万円	0
第7号法人	10億円を超え50億円以下	50人以下	41万円	17
第6号法人	1億円を超え10億円以下	50人超	40万円	1
第5号法人	1億円を超え10億円以下	50人以下	16万円	9
第4号法人	1,000万円を超え1億円以下	50人超	15万円	5
第3号法人	1,000万円を超え1億円以下	50人以下	13万円	43
第2号法人	1,000万円以下	50人超	12万円	3
第1号法人	—	—	5万円	244

2 事業実績

① 現年度課税分

● 収納状況

(単位:円)

年度	調 定 額	収入決算額	不納欠換額	徴収率	収入未済額
H19年度	83,481,100	83,056,000	0	99.49%	425,100
H20年度	80,513,400	79,832,100	0	99.15%	681,300
H21年度	76,145,400	75,524,900	0	99.19%	620,500
H22年度	96,402,800	95,719,600	0	99.29%	683,200
H23年度	92,003,600	91,736,100	0	99.71%	267,500
H24年度	80,436,600	80,436,600	0	100.00%	0

② 滞納繰越分

● 収納状況

(単位:円)

年度	調 定 額	収入決算額	不納欠換額	徴収率	収入未済額
H19年度	1,355,600	120,000	150,000	8.85%	1,085,600
H20年度	1,510,700	453,000	0	29.99%	1,057,700
H21年度	1,739,000	211,900	350,000	12.19%	1,177,100
H22年度	1,797,600	606,400	66,600	33.73%	1,124,600
H23年度	1,807,800	665,280	41,600	36.80%	1,100,920
H24年度	1,368,420	572,897	6,903	41.87%	788,620

年度	24	会計	一般会計 歳入			単位:千円					
款	1	項	2	目	1	細 事 業 名	固定資産税		所 属	税務課	
目 名 称	固定資産税					財 源	内 訳				
目 の 決 算 額	928,597					国	庫 県	費 地 方	債 所 の 他	一 般 財 源	決算書頁
決 算 額	928,597										
( 予 算 額 )	( 918,400 )										7
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穰のまち)		基本構想 第5章		参加と交流で築く開かれたまち【町民参加】			基本計画 第2節		健全な行財政運営の推進		

1 事業概要

【趣 旨】

固定資産の保有と市町村の行政サービスとの間に存在する受益関係に審目し、資産価値に応じて毎年経常的に課税される物税。賦課期日（毎年1月1日）に、「土地・家屋・償却資産」を所有している納税義務者に課税される地方税。

【課税客体】

土地、家屋、償却資産

【税率】

1.4/100 (1.4%)

【課税団体】

所在市町村、配分を受けた市町村

【免税点】

【納税義務者】

固定資産の所有者

【賦課期日】

当該年度の初日の属する年の1月1日

【評価替え】

土地及び家屋については3年毎に評価の見直し

(・・・H21年度 → H24年度 → H27年度・・・)

土地	30万円
家屋	20万円
償却資産	150万円

2 事業実績

① 現年度課税分

● 収納状況

(単位:円)

年 度	調定額	収入決算額	不納欠損額	徴収率	収入未済額
H19年度	938,635,200	916,787,103	0	97.67%	21,848,097
H20年度	956,527,900	933,330,343	0	97.57%	23,197,557
H21年度	935,734,000	912,748,793	0	97.54%	22,985,207
H22年度	953,723,700	933,184,444	681,400	97.85%	19,857,856
H23年度	965,175,400	945,112,266	825,400	97.92%	19,237,734
H24年度	920,932,800	905,905,379	647,400	98.37%	14,380,021

② 滞納繰越分

● 収納状況

(単位:円)

年 度	調定額	収入決算額	不納欠損額	徴収率	収入未済額
H19年度	68,084,818	9,725,763	373,800	14.28%	57,985,255
H20年度	79,833,352	12,970,663	3,338,810	16.25%	63,523,879
H21年度	86,725,436	15,663,229	18,139,993	18.06%	52,922,214
H22年度	75,881,621	18,234,943	10,604,858	24.03%	47,041,820
H23年度	66,779,533	22,750,990	4,419,497	34.07%	39,609,046
H24年度	58,829,680	22,691,525	2,274,931	38.57%	33,863,224

単位:千円

年度	24	会計	一般会計 歳入			細事業名	軽自動車税					所属	税務課
款	1	項	3	目	1								
目名称	軽自動車税												
目の決算額	73,163					財源内訳					決算書頁		
決算額	73,163					国庫	県費	地方債	その他	一般財源			
(予算額)	(72,300)										8		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		基本構想 第5章		参加と交流で築く開かれたまち【町民参加】				基本計画 第2節		健全な行財政運営の推進			

1 事業概要

趣旨 賦課期日(4月1日)現在において主たる定置場所所在市町村において所有している軽自動車の納税義務者に課税する。  
 税の内容

【課税客体】 原動機付自転車、軽自動車、小型特殊自動車、二輪の小型自動車  
 【課税団体】 上記、課税客体の主たる定置場所所在の市町村  
 【納税義務者】 a 軽自動車の所有者  
 b 所有権留保付売買があった場合は、買主をその軽自動車等の使用者とみなす。

【賦課期日】 4月1日  
 【納期】 5月31日

【標準税率】

車種	課税対象	税額(円)		
		業務用	自家用	
① 原動機付自転車	総排気量50cc以下	1,000円		
	二輪 総排気量50cc超90cc以下	1,200円		
		総排気量90ccを超えるもの		1,600円
	三輪以上で総排気量20cc以上(ミニカー)	2,500円		
② 軽自動車および小型特殊自動車	二輪(サイドカー付きのものを含む)	2,400円		
	三輪(トライク又は三輪自動車)	3,100円		
	四輪以上	乗用(5ナンバー車)	5,500円	7,200円
		貨物(4ナンバー車)	3,000円	4,000円
農耕用及び特殊自動車	農耕用	1,600円	4,700円	
③ 二輪の小型自動車(オートバイの項を参照)		4,000円		

2 事業実績

① 現年度課税分

● 収納状況

(単位:円)

年度	調定額	収入決算額	不納欠損額	徴収率	収入未済額
H19年度	68,678,800	66,678,300	0	97.09%	2,000,500
H20年度	70,009,900	68,174,800	0	97.38%	1,835,100
H21年度	70,949,500	69,247,100	0	97.60%	1,702,400
H22年度	72,072,900	70,408,400	0	97.69%	1,664,500
H23年度	73,104,000	71,874,257	0	98.32%	1,229,743
H24年度	73,090,300	72,061,100	0	98.59%	1,029,200

② 滞納繰越分

● 収納状況

(単位:円)

年度	調定額	収入決算額	不納欠損額	徴収率	収入未済額
H19年度	5,333,911	1,257,170	52,800	23.57%	4,023,941
H20年度	6,008,441	1,467,080	38,400	24.42%	4,502,961
H21年度	6,235,661	1,374,250	1,302,950	22.04%	3,558,461
H22年度	5,163,261	1,365,500	506,400	26.45%	3,291,361
H23年度	4,694,461	1,933,338	360,300	41.18%	2,400,823
H24年度	2,569,966	1,101,694	92,400	42.87%	1,375,872



年度	24	会計	一般会計 歳入								
款	1	項	4	目	1	細事業名	町たばこ税			所 属	税務課
目 名 称	町たばこ税										
目 の 決 算 額	166,805					財 源 内 訳					
決 算 額	166,805					国 庫	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	決 算 書 頁
( 予 算 額 )	( 163,600 )										8
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		基本構想 第 5 章		参加と交流で築く開かれたまち【町民参加】			基本計画 第 2 節		健全な行財政運営の推進		

1 事業概要

趣 旨

製造たばこの製造者、特定販売業者または卸販売業者が小売販売業者に売り渡す場合に、その小売販売業者の営業所在の市町村が卸売業者等に課税する。最終的な担税者は消費者である。  
町内でのたばこの購買促進を図ることにより、たばこ税の税収確保を目的とし、小売店組合等に助成事業を行う。

税の内容

【課税客体】 卸売販売業者等が行う小売販売業者、もしくは消費者への売渡または消費等にかかわる製造たばこ。  
 【課税団体】 たばこ小売販売業者の営業所所在の市町村  
 【納税義務者】 製造たばこの製造者、特定販売業者または卸売販売業者。  
 【課税標準】 売渡または消費等にかかわる製造たばこの本数。  
 【税率】 旧3級品以外 1,000本につき4,618円。(H22年10月税率改正)  
 旧3級品の紙巻たばこについては1,000本につき2,190円  
 【徴収方法】 申告納付による普通徴収。  
 【納期】 当月分を翌月末までに納付。

2 事業実績

● 収納状況

(単位:円)

年 度	調 定 額	収 入 決 算 額	収 入 未 済 額	徴 収 率	対前年比
H19年度	141,323,472	141,323,472	0	100.00%	98.40%
H20年度	140,938,996	140,938,996	0	100.00%	99.73%
H21年度	137,682,106	137,682,106	0	100.00%	97.69%
H22年度	144,305,469	144,305,469	0	100.00%	104.81%
H23年度	167,824,904	167,824,904	0	100.00%	116.30%
H24年度	166,804,902	166,804,902	0	100.00%	99.39%

→ H22年10月税率改正

● たばこ売渡本数

(単位:本)

年 度	旧三級品以外	旧三級品	総 本 数	対前年比
H19年度	42,307,200本	1,146,320本	43,453,520本	94.98%
H20年度	42,253,658本	1,014,340本	43,267,998本	99.57%
H21年度	41,342,798本	852,660本	42,195,458本	97.52%
H22年度	37,928,248本	1,052,240本	38,980,488本	92.38%
H23年度	35,699,427本	1,353,860本	37,053,287本	95.06%
H24年度	35,401,185本	1,517,000本	36,918,185本	99.64%

年度	24	会計	一般会計			単位:千円																																										
款	2	項	1	目	8	細事業名	コミュニティタクシー運行事業			所属	企画課																																					
目 名 称	地域づくり推進費					財源内訳					決算書頁																																					
目 の 決 算 額	34,637					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	52・53																																					
決算額 (予算額)	13,082 ( 15,256 )							11,900		1,182																																						
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 1 章		ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 3 節		体系的な交通網の整備・充実																																						
<p>1 事業概要</p> <p>合併後、新しい町の地域生活の向上や町の活性化などのために地域生活交通の確保が必要であり、新町の一体化を強化するとともに、利用者のニーズや利用実態を踏まえ、地域の実情に応じた生活交通の確保、輸送体系の確立を図った。</p> <p>2 事業実績</p> <p>道路運送法の規定に基づき、地域公共交通会議において、地域における需要に応じた町民の生活に必要な公共交通の旅客輸送の確保、その他旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議した。</p> <p>・地域公共交通会議の開催(コミュニティタクシーの運行事業の実施に必要な事項を協議する会議の開催) 2回開催</p> <table border="1" data-bbox="445 826 1151 1066"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>路線(地域)名</th> <th>キロ程</th> <th>H24利用者(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">いこカー</td> <td>福富線</td> <td>9.9km</td> <td>4,089</td> </tr> <tr> <td>牛間田横手線</td> <td>17.1km</td> <td>4,468</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">予約制いこカー</td> <td>須古・六角</td> <td>-</td> <td>1,340</td> </tr> <tr> <td>白石・北明</td> <td>-</td> <td>1,339</td> </tr> <tr> <td>福富</td> <td>-</td> <td>1,106</td> </tr> <tr> <td>有明</td> <td>-</td> <td>2,393</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td></td> <td>14,735</td> </tr> </tbody> </table> <p>※いこカー補助内訳 (運行キロ×126円×日数)－運賃収入(1人:200円)＝町補助額  ※予約制いこカー補助内訳 (タクシーメーター料金)－運賃収入(1人:300円)＝町補助額  ※いずれも、小学生・身障者等の割引制度あり(通常の半額となる)</p> <p>【決算内訳】</p> <table border="0" data-bbox="506 1209 1299 1295"> <tr> <td>報償費</td> <td>地域公共交通会議委員</td> <td>49 千円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>印刷製本費</td> <td>0 千円</td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>運行補助金</td> <td>13,033 千円</td> </tr> </table> <p>3 事業効果</p> <p>新町の一体性を強化するとともに、付加価値の高い交通体系の整備・充実を図ることができた。  また、自家用自動車の利用抑制に努め、二酸化炭素排出削減を図り、地球温暖化防止にも寄与することができた。</p>												名称	路線(地域)名	キロ程	H24利用者(人)	いこカー	福富線	9.9km	4,089	牛間田横手線	17.1km	4,468	予約制いこカー	須古・六角	-	1,340	白石・北明	-	1,339	福富	-	1,106	有明	-	2,393	計			14,735	報償費	地域公共交通会議委員	49 千円	需用費	印刷製本費	0 千円	負担金、補助及び交付金	運行補助金	13,033 千円
名称	路線(地域)名	キロ程	H24利用者(人)																																													
いこカー	福富線	9.9km	4,089																																													
	牛間田横手線	17.1km	4,468																																													
予約制いこカー	須古・六角	-	1,340																																													
	白石・北明	-	1,339																																													
	福富	-	1,106																																													
	有明	-	2,393																																													
計			14,735																																													
報償費	地域公共交通会議委員	49 千円																																														
需用費	印刷製本費	0 千円																																														
負担金、補助及び交付金	運行補助金	13,033 千円																																														

年度	24	会計	一般会計			単位:千円					
款	2	項	1	目	8	細事業名	生活交通路線欠損補助事業			所属	企画課
目 名 称	地域づくり推進費										
目の決算額	34,637					財源内訳					決算書頁
決算額	3,431					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
(予算額)						( 3,431 )					
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 1 章		ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 3 節		体系的な交通網の整備・充実	

1 事業概要

地域住民の生活に必要なバス路線を維持するため、生活交通路線の運行を行う乗合バス事業者(祐徳バス)に対し沿線自治体で補助金を交付した。  
 ※平均乗車密度が5人未満の路線については、国の補助対象経費が減額されるため、その減額分を沿線自治体で負担した。

2 事業実績

佐賀線(祐徳神社前 ~ 山口駅前 ~ 佐賀駅バスセンター 37.5キロ 平日11.0回 土日祝11.0回)  
 武雄線(下西山車庫 ~ 山口駅前 ~ 佐賀駅バスセンター 34.7キロ 平日14.0回 土日祝11.0回)

●平成24年度自治体別欠損額 (H23.10.1~H24.9.30)

路線	乗車密度	佐賀市	小城市	江北町	白石町	鹿島市	大町町	武雄市	合計
(区間キロ数 祐徳~佐賀)		(10.6k)	(5.3k)	(5.5k)	(8.7k)	(7.4k)	—	—	37.5K
(区間キロ数 武雄~佐賀)		(10.6k)	(5.3k)	(4.3k)	—	—	(4.5k)	(10.0k)	34.7K
佐賀線(祐徳神社~佐賀BC)	1.9	4,181	2,090	2,170	3,431	2,918	—	—	14,790
武雄線(武雄~佐賀BC)	2	4,422	2,210	1,793	—	—	1,877	4,172	14,474
合計		8,603	4,300	3,963	3,431	2,918	1,877	4,172	29,264

補助金については、関係市町(4市・3町)でのキロ程により按分した。

運行主体:祐徳バス㈱

3 事業効果

自家用車による移動に依存した状況においては、少子高齢化のさらなる進展により、今後、身近な移動手段の確保に対する要求と不安が、ますます高まることが予想される中で、白石町民の足として、生活に必要なバス路線の確保をすることにより、将来も安心して暮らせる環境づくりを行った。

単位:千円

年度	24	会計	一般会計			細事業名	コミュニティ助成事業	所属	企画課		
款	2	項	1	目	8						
目 名 称	地域づくり推進費					財源内訳					
目の決算額	34,637					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁
決算額 (予算額)	9,400 ( 9,400 )								9,400	0	

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 5 章	参加と交流で築く開かれた町【町民参加】	基本計画 第 1 節	参加と交流の促進
-------------------------------	---------------	---------------------	---------------	----------

1 事業概要

宝くじの社会貢献広報事業として、集会所施設やコミュニティ活動備品の整備、安全な地域づくりと共生のまちづくり及び地域文化への支援等に対して助成を行い、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与した。

2 事業実績

平成24年度決定分

- ① 一般コミュニティ助成事業 100万円～250万円
- ② 地域防災組織育成助成事業 30万円～200万円

区分	事業実施団体	事業内容	総事業費(円)	助成金額(円)
① 一般コミュニティ 助成事業	伊ヶ代公民館	児童公園遊具・フェンス	2,597,700	2,500,000
	下区	浮立道具一式及び台車	2,500,920	2,500,000
	南区子供浮立太鼓保存会	浮立道具一式及びハッピー	2,441,900	2,400,000
② 地域防災組織育成 助成事業	戸ヶ里区自主防災会	防災用具の整備	2,112,968	2,000,000
計			9,653,488	9,400,000

3 事業効果

公民館組織や地域の各種団体の活動に助成することにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上を図った。

単位:千円

年度	24	会計	一般会計			細事業名	児童手当				所属	保健福祉課
款	3	項	2	目	2							
目 名 称	児童措置費											
目の決算額	411,395					財源内訳						
決算額 (予算額)	338,660 ( 339,030 )					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁  77	
						233,420	52,620			52,620		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 2 章			健やかで安心できるやさしいまち			基本計画 第 1 節		子育て支援の充実	

1 事業概要

これまでの子ども手当は、平成24年3月で終了し、平成24年4月1日から児童手当に変わりました。

【対象となる児童】

- ・15歳に達する日以降の最初の3月31日まで(中学校終了前まで)の児童

【児童手当の支給月額】

- ・0歳から3歳未満(一律) 15,000円
- ・3歳から小学校就学前(第1子・第2子) 10,000円
- ・3歳から小学校就学前(第3子) 15,000円
- ・中学生(一律) 10,000円

【所得制限限度額以上】

- ・特例給付(一律) 5,000円

※所得制限について

平成24年6月分(24年10月支給分)から、下表のとおり所得制限が導入されました。

扶養親族の数	所得制限限度額
0人	622万円
1人	660万円
2人	698万円
3人	736万円
4人	774万円
5人	812万円

・以降1人増すごと38万円加算

【支給月】

- ・2月(10,11,12,1月分)、6月(2,3,4,5月分)、10月(6,7,8,9月分)の年3回

2 事業実績

(支給内訳)

単位:人、円

支給対象児童	月額	総支給額	
		延べ人数	支給額
被用者	3歳未満	15,000	49,155,000
	3歳~中学校終了前	10,000	140,470,000
非被用者		15,000	32,910,000
		10,000	69,100,000
特例給付	5,000	2,986	44,790,000
合計		447	2,235,000
		29,861	338,660,000

(財源負担割合)

支給対象児童	財源負担割合		
	国	県	町
被用者	37/45	4/45	4/45
非被用者	2/3	1/6	1/6
特例給付			

3 事業効果

父母その他の保護者が子育てについての第一義務的責任を有するという基本的認識の下に、児童を養育している父母などに児童手当を支給することにより、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することができた。

単位:千円

年度	24	会計	一般会計			細事業名	地域子育て支援事業	所属	保健福祉課		
款	3	項	2	目	5						
目 名 称	次世代対策費					財源内訳			決算書頁		
目 の 決 算 額	38,561					国庫	県費	地方債		その他	一般財源
決算額	13,269					4,360				8,909	
(予算額)	( 13,269 )									81	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 2 章			健やかで安心できるやさしい町			基本計画 第 1 節		子育て支援の充実

1 事業概要

- 白石町交流館内「ゆめてらす」において、地域子育て支援事業を、白石町社会福祉協議会への委託事業として実施する。
- ◆ 地域子育て支援拠点事業「ゆめひろば」・・・常設のひろばを開設し、乳幼児とその保護者の相互交流を図る場を提供する。  
実施時間 月曜日～金曜日、毎月第2土曜日 午前9時～午後5時まで  
利用料 無料
  - ◆ 一時預かり事業「ひよこぐみ」・・・一時的に家庭での保育が困難な場合に、お子様を預かります。  
実施時間 月曜日～金曜日、毎月第2土曜日 午前9時～午後5時まで  
利用料 町内のお子さん 1時間 300円、町外のお子さん 1時間 600円

2 事業実績

ゆめてらす利用者数

単位:人

	【ゆめひろば】		【ひよこぐみ】	
	子ども	大人	町内	町外
4月	251	175	42	1
5月	289	229	59	5
6月	323	266	54	13
7月	407	320	44	15
8月	455	343	59	15
9月	317	265	71	4
10月	360	283	76	3
11月	301	242	95	2
12月	279	219	106	9
1月	267	221	95	5
2月	356	277	122	1
3月	373	271	111	2
合計	3,978	3,111	934	75

(委託費明細)

単位:円

項 目	金額
指導職員給与(1人)	4,103,311
指導員賃金(4人)	8,477,667
福利厚生費	69,218
講師謝金	25,400
講師旅費	5,000
消耗品費	193,648
印刷製本費	40,320
燃料費	71,028
通信運搬費	36,439
器具費	141,350
保健衛生費	64,955
賃借料	40,664
合 計	13,269,000

3 事業効果

「ゆめひろば」で、乳幼児と保護者が一緒に遊んだり、子育ての悩みを気軽に相談したり、お互いの情報を交換したりと自由に交流できる。  
「ひよこぐみ」で、一時的に家庭での保育が難しい場合に、乳幼児をお預かりすることにより、子育て世帯を支援する。  
このことにより、子育ての不安感の緩和が図られ、子どもの健やかな育ちが促進された。  
平成22年10月21日供用開始以来、利用者は年々増加している。

年度	24	会計	一般会計			単位:千円						
款	3	項	2	目	5	細事業名	学童保育事業				所属	保健福祉課
目名称	次世代対策費											
目の決算額	38,561					財源内訳						決算書頁
決算額	23,618					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	81-82	
(予算額)						( 24,151 )						
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第2章			健やかで安心できるやさしいまち			基本計画 第1節		子育て支援の充実	

1 事業概要

学校終了後や長期休業等に、保育に欠ける小学校低学年児童(原則1年から小学3年まで)を対象に、学校の余裕教室等を利用して学童保育を実施することにより児童の健全育成を図る。

- ◇ 平日の開設時間 放課後～18:00
- ◇ 土曜日の開設時間 7:40～18:00
- ◇ 長期休業の開設時間 7:40～18:00

区分	負担金の額(児童一人につき)	減免の場合	減免率
継続参加	月額2,000円(土曜参加は月額3,000円)	・ひとり親家庭の場合	1/2
	夏季休業日4,000円(土曜参加は5,000円)	・生活保護法による被保護世帯である場合	10/10
一時参加	夏季休業日5,000円(土曜参加は6,000円)	・被災世帯である場合	10/10
	冬季休業日2,000円	・その他特別な事由があると認められた場合	10/10
	学年末休業日から学年始めの休業日2,000円	・同一世帯から2人以上の児童が参加する場合の2人目からの児童	1/2

2 事業実績

クラブ別 (学校別)	H24年度 利用児童数							指導員数		H23利用者 (参考)
	春季休業時	学校開設時	夏季休業時	冬季休業時	学年末休業時	土曜日開設	学校代休日	臨時雇用		
須古小	4	11	7	3	3	2	1	2	10	
六角小	12	19	16	14	16	7	11	2	16	
白石小	13	28	16	15	16	7	10	2	24	
北明小	12	22	11	13	12	0	3	3	21	
福富小	22	41	24	19	17	9	16	4	34	
有明東小	6	13	13	13	12	1	7	2	10	
有明西小	6	13	11	7	10	2	3	2	9	
有明南小	9	15	12	8	10	1	6	3	12	
計	84	162	110	92	96	29	57	20	136	

※長期休業時及び土曜日開設は、合同開設で実施

(事業費明細)

節名	予算現額	決算額	備考
7 賃金	20,597,000	20,214,000	指導員賃金
9 旅費	22,000	18,300	普通旅費
11 需要費	1,274,000	1,186,552	消耗品・燃料費・光熱水費
12 役務費	15,000	5,870	トイレ汲み取り料
13 委託料	58,000	57,120	六角学童浄化槽保守点検
14 使用料	225,000	212,016	福富学童使用料
15 工事請負費	1,760,000	1,727,250	北明小学学童保育室改修工事
18 備品購入費	200,000	196,875	学童保育室用テレビ・DVD
計	24,151,000	23,617,983	

3 事業効果

学校開設時の小学校単位の学童保育所開設に加え、長期休業時及び土曜日(ともに合同開設)を実施することにより、利用者の利便を図っている。さらに今年度からは、学校代休日も開設し、保護者が安心して働くことができる環境が図られ、子どもたちの健全育成など、仕事と子育ての両立支援が推進できた。

年度	24	会計	一般会計			単位:千円						
款	4	項	1	目	1	細事業名	子どもの医療事業費				所属	保健福祉課
目 名 称	保健衛生総務費					財源内訳					決算書頁	
目の決算額	162,717					国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
決算額	32,338						16,095		150	16,093	84・85	
(予算額)	( 34,892 )											
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 2 章			健やかで安心できるやさしいまち			基本計画 第 1 節		子育て支援の充実	

1 事業概要

出生から就学前までの子どもを対象に、保険給付の一部負担金から、医療機関及び被保険者ごとに、1月当たり入院は上限1,000円、入院外は上限1回目500円・2回目500円の自己負担を控除した医療費について助成を行う。ただし、薬局は一部負担金を全額助成する。  
 ※県外で受診した場合の医療費については、償還払いとする。  
 ※高額医療費に該当した場合については、高額療養費該当者の代理申請を行う。  
 ※医療費の助成については、国民健康保険団体連合会及び社会保険診療報酬支払基金に委託。

2 事業実績

支給月	扶助費内訳				未熟児医療 一部負担
	診療報酬 (国保連合会)	診療報酬 (支払基金)	一部負担金 (償還払い)	単位:円	
4月	0	0	0		0
5月	0	0	0		0
6月	735,388	2,016,272	17,890		0
7月	881,912	1,806,787	65,124		0
8月	1,095,606	1,912,181	129,550		0
9月	626,180	1,767,951	660		0
10月	927,605	1,646,556	23,520		0
11月	572,572	1,810,092	42,520		0
12月	951,964	2,546,289	4,020		0
1月	1,027,037	2,791,144	103,030		42,903
2月	779,072	2,509,366	37,396		6,858
3月	1,065,608	2,659,877	3,800		0
合計	8,662,944	21,466,515	427,510		49,761

節	支出済額	備 考
12. 役務費	1,731,663	審査支払手数料
20. 扶助費	30,606,730	医療費(調剤含む)
事業費計	32,338,393	

3 事業効果

子どもの疾患(病気)の早期発見、早期治療及び子育て世帯の経済的な負担の軽減を図り、よりよい子育ての環境づくりができる。



単位:千円

年度	24	会計	一般会計			細事業名	小学生・中学生医療事業費				所属	保健福祉課
款	4	項	1	目	1							
目名称	保健衛生総務費					財源内訳						
目の決算額	162,717											
決算額	11,596 (予算額) ( 11,920 )					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁	
(予算額)						11,920		11,000		596		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 2 章		健やかで安心できるやさしいまち			基本計画 第 1 節		子育て支援の充実		

1 事業概要

小学生・中学生を対象に、保険医療機関等において医療を受け、医療費の一部を負担した場合は、当該一部負担金から自己負担金(入院及び入院外それぞれ1月につき1,000円。ただし、薬局は除く。)を控除した額を助成する。支払い方法は、償還払いとする。(平成24年3月診療分までの入院医療費については、1月につき自己負担300円を控除した額を助成する。)

2 事業実績

平成24年度

支給月	件数(件)	助成金額(円)
4月	3	147,214
5月	0	0
6月	226	543,148
7月	470	972,300
8月	351	1,048,024
9月	385	785,730
10月	471	1,148,922
11月	550	1,015,007
12月	629	1,177,650
1月	531	1,115,476
2月	959	1,883,069
3月	866	1,841,913
戻入	-11	-82,321
合計	5,430	11,596,132

※日本スポーツ振興センターの災害給付を受ける医療費の一部負担金は、対象外のため戻入命令

戻入命令	
2,110	
2,760	
5,650	
1,050	
3,240	
4,780	
3,150	
12,320	
43,151	
2,160	
1,950	
合計	82,321

【参考】

年度ごとの推移

年度	件数	助成金額(円)	対象児童 控除額
22	11	410,486	小学1年～6年生(入院のみ) 300円/1月
23	33	1,684,342	小学1年～中学3年生(入院のみ) 300円/1月
24	5,430	11,596,132	小学1年生～中学3年生 通院(歯科・調剤)まで拡充 1,000円/1月(調剤は全額助成)

3 事業効果

子どもの疾病の早期発見、早期治療及び家庭の経済的負担の軽減が図られ、よりよい子育ての環境づくりができた。

年度	24	会計	一般会計								単位:千円																
款	4	項	1	目	1	細事業名	医療費助成制度PR事業(緊急雇用対策)				所属	保健福祉課															
目名称	保健衛生総務費																										
目の決算額	162,717					財源内訳					決算書頁																
決算額	800 (予算額) ( 816 )					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	82																
(予算額)							800			0																	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 2 章		健やかで安心できるやさしいまち			基本計画 第 1 節		子育て支援の充実																	
<p>1 事業概要</p> <p>重点分野雇用創出事業(緊急雇用対策)により医療費助成制度PR事業を行う。            今年度改正した子どもの医療費助成、拡充した小学生・中学生医療費助成制度等、各種医療費助成制度の制度説明および周知を図り、福祉・子育ての充実を図るため、各助成対象者に解説を行う職員を配置する。</p> <p>2 事業実績</p> <p>雇用期間：平成24年10月3日～平成25年3月31日            雇用者数：新規雇用1名</p> <p style="text-align: right;">単位:円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>節</th> <th>細 節</th> <th>支出額</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>07. 賃 金</td> <td>日々雇用職員</td> <td>695,397</td> <td>社会保険料等の101,221円は、総務より支出</td> </tr> <tr> <td>11. 消耗品費</td> <td>PR活動用</td> <td>104,562</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費計</td> <td>799,959</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※佐賀県緊急雇用創出基金事業費補助金(重点分野雇用創出事業) 医療費助成制度PR事業 901,180円(799,959+101,221)</p> <p>3 事業効果</p> <p>各医療費助成制度の周知徹底を行うことで、医療費の助成申請漏れを防ぐことができ、保護者の経済的負担の軽減につながった。            また、医療機関への受診を促すことにより、疾病の早期発見・早期治療などの保健対策が向上した。</p>												節	細 節	支出額	備 考	07. 賃 金	日々雇用職員	695,397	社会保険料等の101,221円は、総務より支出	11. 消耗品費	PR活動用	104,562		事業費計		799,959	
節	細 節	支出額	備 考																								
07. 賃 金	日々雇用職員	695,397	社会保険料等の101,221円は、総務より支出																								
11. 消耗品費	PR活動用	104,562																									
事業費計		799,959																									

年度	24	会計	一般会計			単位:千円							
款	3	項	2	目	4	細事業名	保育園管理費 (保育園施設改修事業)				所属	保健福祉課	
目 名 称							児童福祉施設費						
目の決算額						704,250						決算書頁	
決算額						財源内訳					決算書頁		
(予算額)						国庫	県費	地方債	その他	一般財源			
15,132						567				14,565	80		
( 15,980 )													
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 2 章		健やかで安心できるやさしいまち			基本計画 第 1 節		子育て支援の充実			
1 事業概要													
町立保育園の適切な維持管理のための改修工事を実施することで安心安全な保育を提供する。													
2 事業実績													
13 委託料 (単位:円)													
節		細事業			実績額		備考						
委託料		保育園管理費			2,039,100		有明ふたば保育園耐震診断委託料						
15 工事請負費 (単位:円)													
節		細事業			実績額		備考						
工事請負費		保育園管理費			13,092,450		保育園施設修繕工事						
工事実績													
■六角保育園防草シート設置工事					260,400 円								
■福田保育園・福富保育園防草シート設置工事					896,700 円								
■あかり保育園テラス前芝張工事					159,600 円								
■あかり保育園ステージ設置工事					336,000 円								
■有明ふたば保育園駐車場等外壁改築工事					10,132,500 円								
■有明ふたば保育園・有明わかば保育園・有明みのり保育園屋外流し台設置工事					207,900 円								
■有明みのり保育園駐車場舗装補修工事					483,000 円								
■有明ふたば保育園園舎内装補修工事					490,350 円								
■六角保育園側溝設置工事					126,000 円								
					合 計		13,092,450 円						
3 事業効果													
保育園改修工事により、安心安全で快適な環境整備を図ることができた。													

節 名	予算現額	決算額
13委託料	2,700,000	2,039,100
15工事請負費	13,280,000	13,092,450
合計	15,980,000	15,131,550

単位:千円

年度	24	会計	一般会計			細事業名	母子健康診査事業費					所属	保健福祉課
款	4	項	1	目	1								
目 名 称	保健衛生総務費					財源内訳					決算書頁		
目の決算額	162,717					国庫	県費	地方債	その他	一般財源			
決算額	17,749						5,382			12,367	83~85		
(予算額)	( 21,389 )												

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち	基本計画 第 3 節	保健・医療体制の充実
-------------------------------	---------------	-----------------	---------------	------------

1 事業概要

妊婦健康診査は、妊娠初期～妊娠23週迄(6ヶ月末):1回/4週 妊娠24週～35週迄(9ヶ月末):1回/2週 妊娠36週～ :1回/1週  
 ①妊婦健康診査は、妊婦健診受診票(補助券)を14枚交付(診察、血液検査、超音波検査等)  
 ②集団健診:乳児健康診査(4～5か月児健診)、1歳6か月児健康診査(1歳8～9か月児)、3歳6か月児健康診査(3歳8～9か月児)を実施  
 ③個別健診(医療機関・小児科):乳児健康診査(9か月頃)を実施

2 事業実績

単位:円

節	細節	実績額	備 考
賃金	日々雇用職員賃金	675,000	保健師・看護師・歯科衛生士雇上
報償費	謝礼及び謝金	741,600	小児科・内科医・歯科医・耳鼻科医謝礼
需用費	消耗品費・医薬材料費	105,102	消毒液他
役務費	通信運搬費・手数料	310,795	通知郵便料、審査支払手数料(国保連合会)
委託料	その他委託料	15,832,450	母子健康診査委託料
扶助費	扶助費	83,810	妊婦健診扶助費(償還払)
	計	17,748,757	

実績件数

(単位:人)

妊婦健診(個別)	乳児健康診査		1歳6か月児健康診査	3歳6か月児健康診査
	集団健診	個別健診	集団健診	集団健診
2,132	163	139	194	188

※ 委託単価(個別健診)  
 妊婦(14枚) 98,370円  
 乳児(一般) 5,400円

\* 乳幼児健康診査の未受診者については、乳幼児の健全な発育、発達を促す目的から個別に全数の状況把握を実施した。

3 事業効果

妊婦・乳児の健康診査により、健康保持増進に努め、継続指導者へは個別支援を提供した。

単位:千円

年度	24	会計	一般会計		細事業名	予防接種事業費	所属	保健福祉課		
款	4	項	1	2						
目 名称	予防費				財源内訳			決算書頁		
目の決算額	93,238				国庫	県費	地方債		その他	一般財源
決算額 (予算額)	68,450 ( 71,006 )					9,150			59,300	85・86
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		基本構想 第 2 章		健やかで安心できるやさしいまち		基本計画 第 3 節		保健・医療体制の充実		

1 事業概要 感染症の蔓延予防と公衆衛生の向上を図るため、各種予防接種を実施した。

2 事業実績

接種区分	予防接種名	実施者数	対 象 者
個別接種	BCG	実 157人	生後6か月まで
	2種混合(ジフテリア・破傷風)	実 226人	11歳～12歳
	3種混合(百日咳・ジフテリア・破傷風)	延 666人	3か月～90か月児(4回接種)
	麻疹・風疹	実 931人	I期:1～2歳未満 II期:5歳から就学前まで III期:中学1年 IV期:高校3年生
	高齢者インフルエンザ	実 4,751人	65歳以上(令第1条の2)
	小児インフルエンザ	実 1,870人	0歳～中学3年生
	日本脳炎	延 1,340人	I期:6か月～90か月 II期:9歳以上13歳未満
	ポリオ(不活化)	延 626人	3～90か月児 4回接種 (9月1日より開始)
	4種混合(百日咳・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ)	延 107人	3か月～90か月児(4回接種)
	ヒブワクチン	延 757人	生後2月～5歳未満(標準接種は2か月以上7か月未満で4回接種)
	肺炎球菌ワクチン	延 740人	〃
	子宮頸がんワクチン	延 102人	中学1年生～高校1年生(新たな対象者は中学1年生)
	集団接種	ポリオ(生ワクチン)	延 199人

\*個別接種は、佐賀県医師会との契約により広域実施。子宮頸がんワクチン、小児インフルエンザについては武雄杵島地区医師会と契約し、実施医療機関で実施。

\*9月1日よりポリオワクチンが不活化ワクチンとなり個別接種に移行。

\*11月1日より3種混合ワクチンに不活化ポリオワクチンを混合した4種混合ワクチンが導入される。

単位:円

節	細節	実績額	備 考
賃金	日々雇用職員賃金	41,400	看護師 4,400円×延べ6人=26,400円 保健師 5,000円×延べ3人=15,000円
報償費	謝礼及び謝金	104,000	集団接種時医師 13,000円×延べ8人=104,000円
需用費	消耗品費	75,692	予防接種手帳、予診票印刷用紙、他一般消耗品
	医薬材料費	69,720	ポリオワクチン代
役務費	通信運搬費	66,585	郵便料
	手数料	1,156,112	予防接種審査支払手数料
委託料	その他委託料	2,940	医療廃棄物処理委託料
		65,865,443	各予防接種接種委託料
		924,000	システム改修委託料
扶助費	扶助費	144,000	償還払(小児インフルエンザ)
	計	68,449,892	

3 事業効果 感染症に対する個人衛生の啓発及び感染症対策の強化を図り、感染症の蔓延を防止することができた。

単位:千円

年度	24	会計	一般会計			細事業名	成人検診事業費					所属	保健福祉課
款	4	項	1	目	2								
目名称	予防費												
目の決算額	93,238					財源内訳							決算書頁
決算額 (予算額)	22,981 ( 23,365 )					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	85-86		
						2,102	439		3,288	17,152			
白石町総合計画 人と大地がうるおい輝く豊穡のまち			基本構想 第2章			健やかで安心できるやさしいまち			基本計画 第3節		保健・医療体制の充実		

- 1 事業概要
- 各種がん検診:40歳(一部20歳)以上の住民に対して各種がん検診を実施
  - 結核健診:65歳以上の住民に対して胸部レントゲン(間接撮影)を実施
  - 肝炎ウイルス検診:30歳以上の新規肝炎ウイルス検査(B型・C型)を実施。

2 事業実績

検診名	受診者数	受診率	異常なし	要精密者数	精検受診者数	精検受診率	がんであった者
肺がん検診	1,947	19.2%	1,915	32	29	90.6%	0
胃がん検診	1,114	11.0%	984	130	106	81.5%	5
子宮がん検診	649	20.7%	639	10	8	80.0%	0
乳がん検診	683	23.0%	632	51	46	90.2%	2
大腸がん検診	1,476	14.6%	1,356	120	88	73.3%	1
前立腺がん検診	851	21.8%	792	59	46	78.0%	10

肝炎ウイルス検査(40歳以上)

型名	受診者数	陽性者数
B型	284	6
C型	245	4

単位:円

節	細節	実績額	備考
賃金	日々雇用職員賃金	311,800	検診従事看護師・事務職員
需用費	消耗品費	368,624	色上質紙、検診手帳、封筒 他事務用品
	燃料費	1,030	白灯油
	印刷製本費	82,277	がん検診推進事業クーポン券、検診日程表
役務費	通信運搬費	1,103,605	がん検診推進事業郵送料 他
委託料	その他委託料	21,047,955	各種検診委託料 20,659,455円 システム改修388,500円
使用料及び賃借料	その他使用料	65,500	検診施設空調使用料
計		22,980,791	

- 3 事業効果
- 住民の各種がんの早期発見ができ、早期治療につなげることができた。

年度	24	会計	一般会計			単位:千円					
款	3	項	1	目	3	細事業名	高齢者在宅福祉事業			所属	長寿社会課
目 名 称	老人福祉費										
目の決算額	1,111,796					財源内訳					決算書頁
決算額	33,760 (予算額) ( 35,285 )					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	73-74
(予算額)								1,000	4,285	28,475	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 2 章		健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			基本計画 第 2 節		高齢者・障がい者福祉の充実	
1 事業概要											
在宅の高齢者を対象に、介護予防事業や高齢者福祉事業を実施し、自立した生活の継続を支援する。											
2 事業実績											
(単位:円)											
事業名	予算額	事業費	利用状況		委託先						
在宅高齢者住宅改修事業費	240,000	0	利用状況	0 件							
生きがい活動支援通所事業	21,870,000	21,780,000	延べ参加人数	5,539 人	白石町社会福祉協議会						
食の自立支援事業	9,318,000	8,689,350	延べ配食数	15,660 食	JA佐賀						
軽度生活援助事業	356,000	285,950	延べ利用時間	125.0 時間	白石町社会福祉協議会						
生活管理指導短期宿泊事業	120,000	27,000	延べ利用日	6 日	清涼荘、歌垣之園、桜の園他						
緊急通報体制等整備事業	2,404,000	2,096,942	登録人数	78 人	富士警備保障						
寝たきり紙おむつ支給事業	977,000	881,231	登録人数	16 人							
合 計	35,285,000	33,760,473									
3 事業効果											
在宅高齢者の介護予防・重症化の予防につながり、自立した生活を継続するための支援ができた。											

年度	24	会計	一般会計			単位:千円					
款	3	項	1	目	3	細事業名	介護保険事業			所属	長寿社会課
目 名 称	老人福祉費					財源内訳					
目の決算額	1,111,796					決算書頁					
決算額	421,725 (予算額) ( 421,842 )					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	74・75
(予算額)							1,637			420,088	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 2 章		健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】		基本計画 第 2 節		高齢者・障がい者福祉の充実		
<p><b>1 事業概要</b></p> <p>加齢に伴っておこる心身の変化に起因する疾病により、日常生活のうえで介護が必要な人に、その人の能力に応じ必要な居宅サービス及び施設サービスに係る給付を行う。3市4町の構成による杵藤地区広域市町村圏組合が保険者となり、介護保険事業を実施し、運営する。市町村はその事業費の12.5%を負担する。</p>											
<p><b>2 事業実績</b></p> <p>人口 25,307人      65歳以上の人口 7,331人 (高齢化率28.97%)      平成25年3月31日現在  要介護・要支援者数 1,672人 (1号保険者1,636人 2号保険者 36人)</p> <p>給付費 (居宅 1,150,120千円      施設 1,292,438千円      介護予防 145,101千円 )</p> <p>歳入      平成23年度介護保険事業返還金      18,185,790 円  介護保険低所得利用者助成事業費補助金      1,725,000 円</p> <p>歳出      介護保険事業費負担金      419,454,000 円  社会福祉法人等による軽減補助金      2,182,957 円  平成23年介護保険利用者助成事業費補助金返還金      88,000 円</p>											
<p><b>3 事業効果</b></p> <p>介護の必要な人に施設での適切な介護や在宅での自立に向けた日常生活動作の維持のための介護サービスを提供することができた。</p>											



年度	24	会計	一般会計			単位:千円					
款	3	項	1	目	3	細事業名	敬老の日記念事業			所属	長寿社会課
目 名 称	老人福祉費										
目 の 決 算 額	1,111,796					財源内訳					
決算額 (予算額)	17,147 ( 17,332 )					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁 72~74
										17,147	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 2 章		健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			基本計画 第 2 節		高齢者・障がい者福祉の充実	

1 事業概要

多年にわたり社会の進展に寄与された高齢者の長寿を地域でお祝いすることで、高齢社会について理解と関心を深める。

2 事業実績

(単位:円)

節	細 節	実績額	備 考
報償費	記念品代	1,483,000	敬老記念品 最高齢5,000円×2名、喜寿3,000円×291名、米寿3,000円×184名、白寿3,000円×16名
需用費	消耗品費・印刷製本費	36,033	高齢者訪問用消耗品、封筒、花
役務費	通信運搬費	236,555	敬老記念送付簡易書留料、祝い金通知後納郵便料
負担金補助及び交付金	補助金	4,706,000	地区敬老事業助成金 87地域 75歳以上人数×1,000円
扶助費	扶助費	10,685,000	長寿祝金 80歳10,000×325人、85歳15,000×211人、90歳20,000×105人、95歳30,000×44人、100歳以上50,000×17人
計		17,146,588	

敬老会出席状況

	対象者数	出席率
17年度	4,146 人	28.6%
18年度	4,255 人	中止
19年度	4,338 人	16.1%
20年度	4,425 人	16.4%
21年度	4,480 人	13.3%
22年度	4,580 人	54.0%
23年度	4,685 人	55.7%
24年度	4,706 人	55.0%

町主催敬老会

地域敬老会 実施団体数 82団体  
 地域敬老会 実施団体数 87団体  
 地域敬老会 実施団体数 87団体

3 事業効果

地域で高齢者の長寿をお祝いしたことで、参加者が増え、地域の一体感と高齢化社会への関心が高まった。

年度	24	会計	一般会計			単位:千円						
款	3	項	1	目	3	細事業名	介護予防事業				所属	長寿社会課
目名称	老人福祉費											
目の決算額	1,111,796					財源内訳					決算書頁	
決算額	14,932					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	72~74	
(予算額)						(16,550)						
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第2章		健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			基本計画 第2節		高齢者・障がい者福祉の充実		

1 事業概要

介護予防事業は、二次予防事業と一次予防事業に大きく分かれています。二次予防事業は、要介護状態等になるおそれの高い高齢者(二次予防事業の対象者)に対して介護予防を積極的に行うことで、一人ひとりの生きがいや自己実現の取組を支援することを目的としています。  
また、一次予防事業は、介護予防のための自発的な活動が広く実施され、地域の高齢者が自ら介護予防に向けた取組が主体的に実施されるように活動の育成・支援をしていくものです。

2 事業実績

(単位:円)

細事業	予算額	事業費	主内容	備考
1 二次予防事業				
1. 二次予防事業の対象者把握事業	3,920,000	3,547,565	基本チェックリスト実施者4,875人、二次予防事業の対象者1,753人 実態把握で栄養士、保健師の訪問(栄養:54人 閉じこもり:107人)	
2. 通所型介護予防事業	8,172,000	7,645,465	総合型プログラム教室(足腰しっかりリハビリ教室3コース・シルバー教室2コース、おたっしや教室1コース、みのり教室1コース)男性運動教室1コース、認知症予防教室1コース 計9教室 延112回 参加実人員175人 口腔機能向上プログラム6回 参加実人員11人	リョーユースホーツプラザ、信愛整形外科、ニチイ学館、白石町文化振興財団、町内歯科医院へ委託
3. 訪問型介護予防事業	165,000	110,000	保健師の訪問実施(うつ・閉じこもり・認知症:7人)	
2 一次予防事業				
1. 介護予防普及啓発事業	3,920,000	3,315,784	運動教室(白石町健康体操教室2コース・水中運動教室3コース・健康アップ教室)介護予防入門講座 計7教室 延75回、参加人数182人、一般高齢者の健康教育44回 延人数1,585人 白石町介護予防体操成 老人クラブ健康づくり事業 自主グループ(健康体操5グループ 水中運動1グループ)	白石町文化振興財団、白石町老人クラブ連合会へ一部委託
2. 地域介護予防活動支援事業	373,000	313,647	ボランティア養成講座6回 参加実人員20人、ボランティアフォロー講座3回43人 自主グループ(白石町健康体操グループ5地域・水中運動グループ1グループ) 計6グループ	
合計	16,550,000	14,932,461		

3 事業効果

介護予防に関する知識の普及啓発とともに、継続した運動の必要性を体感され、自主的な取り組みにつながるなど、介護予防の意識も変わってきている。

年度	24	会計	一般会計			単位:千円																					
款	3	項	1	目	3	細事業名	予防給付策定事業				所属	長寿社会課															
目名称	老人福祉費																										
目の決算額	1,111,796					財源内訳																					
決算額 (予算額)	15,785 ( 16,091 )					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁 72~74																
									15,785																		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 2 章		健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			基本計画 第 2 節		高齢者・障がい者福祉の充実																	
<p>1 事業概要</p> <p>介護保険で要支援1・2の認定を受けた者に対して支援計画の策定を行い、要支援状態からの悪化防止、また要介護状態になることを予防する。</p>																											
<p>2 事業実績 (単位:円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>細事業</th> <th>予算額</th> <th>事業費</th> <th>主内容</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 介護予防給付策定事業</td> <td>16,091,000</td> <td>15,784,609</td> <td>日々雇用職員賃金(5人)、消耗品費、訪問車燃料費、ケアプラン策定委託料、予防給付システムリース料、公用車リース料</td> <td>居宅介護支援事業所10ヵ所へ一部委託</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>16,091,000</td> <td>15,784,609</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成24年度の介護予防給付策定事業の要支援1, 2の人の支援計画策定件数は延べ3, 661件 (内訳 地域包括支援センター作成:2,354件、居宅介護支援事業所委託:1,307件) ※平成24年度の1月当たり平均の要支援1・2の人の介護予防サービス利用人員は305人</p>													細事業	予算額	事業費	主内容	備考	1. 介護予防給付策定事業	16,091,000	15,784,609	日々雇用職員賃金(5人)、消耗品費、訪問車燃料費、ケアプラン策定委託料、予防給付システムリース料、公用車リース料	居宅介護支援事業所10ヵ所へ一部委託	合計	16,091,000	15,784,609		
細事業	予算額	事業費	主内容	備考																							
1. 介護予防給付策定事業	16,091,000	15,784,609	日々雇用職員賃金(5人)、消耗品費、訪問車燃料費、ケアプラン策定委託料、予防給付システムリース料、公用車リース料	居宅介護支援事業所10ヵ所へ一部委託																							
合計	16,091,000	15,784,609																									
<p>3 事業効果</p> <p>介護予防給付計画策定を行い、要支援者に対して支援計画に基づき適切なサービスの提供ができた。</p>																											

年度	24	会計	一般会計			単位:千円							
款	3	項	1	目	2	細事業名	障害者自立支援給付費				所属	長寿社会課	
目 名 称	障害者福祉費						財源内訳					決算書頁	
目の決算額	584,994					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	69~71		
決算額 (予算額)	417,942 ( 424,549 )					204,944	102,372			110,626	69~71		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 2 章		健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			基本計画 第 2 節		高齢者・障がい者福祉の充実			
1 事業概要													
障害者及び障害児が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービス(介護給付・訓練等給付)を給付する。													
2 事業実績													
09	旅費					精神障害者デイケア(のびのび会)	職員引率バス代					1,020円	
11	需用費	消耗品費				精神障害者デイケア(のびのび会)	手芸用品代・実習材料費					13,419円	
12	役務費	通信運搬費				インターネット回線料	国保連との専用回線					47,154円	
13	委託料	その他委託料				支援費給付事務委託料						535,886円	
20	扶助費(自立支援給付費)	補助率	国庫	1/2	県費	1/4							
◎	介護給付費、旧法支援給付費	2,028人		278,791,661円			◎ 訓練等給付費	994人	120,379,898円				
	・居宅介護支援	264人		21,425,870円			・共同生活援助	134人	8,585,889円				
	・行動援護	28人		1,977,960円			・自立訓練(生活訓練)	11人	1,298,610円				
	・生活介護支援	680人		118,550,485円			・就労移行支援	227人	33,234,852円				
	・児童デイサービス費	9人		351,330円			・就労移行支援(養成施設)	0人	0円				
	・短期入所	33人		706,044円			・就労継続支援A型	88人	10,710,788円				
	・共同生活介護	150人		15,041,332円			・就労継続支援B型	534人	66,549,759円				
	・施設入所支援	636人		51,027,239円			◎ 相談支援事業						
	・旧身体入所療護施設	0人		0円			・サービス利用計画作成費	1人	9,780円				
	・旧身体入所授産施設	1人		256,990円			・計画相談支援給付費	12人	194,350円				
	・旧知的入所更生施設	17人		3,528,410円			◎ 特定障害者特別給付費						
	・旧知的通所更正施設	0人		0円			・補足給付費	894人	12,618,772円				
	・旧知的入所授産施設	4人		840,540円									
	・旧知的通所授産施設	20人		3,285,710円									
	・旧知的通勤療	1人		100,440円									
	・療養介護(福祉)	185人		47,860,910円									
	・療養介護(医療)	185人		13,838,401円									
							計		411,994,461円				
23	償還金利子及び割引料	償還金				前年度自立支援給付費国庫(県費)負担金返還金						5,349,949円	
												決算額 417,941,889円	
3 事業効果													
障害者(児)に必要な支援を実施することにより、自立した日常生活又は社会生活を営むことができる。													

年度	24	会計	一般会計			単位:千円							
款	3	項	1	目	2	細事業名	相談支援事業				所属	長寿社会課	
目 名 称													障害者福祉費
目の決算額						584,994					決算書頁		
決算額						7,483							
(予算額)						( 7,483 )					69		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 2 章			健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			基本計画 第 2 節		高齢者・障がい者福祉の充実		

1 事業の概要

【白石町相談支援事業実施要綱】

- 障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業の一つで、市町村の必須事業である。
- 障害のある人、保護者、介護者などからの相談に応じ、必要な情報提供及び助言等や権利擁護のために必要な援助を、相談支援事業の研修を受けた相談支援専門員が対応する。
- 相談支援事業は、24時間365日対応とし、社会福祉法人たちばな会に委託して実施(平成21年4月開所)
- 白石町・江北町との共同により設置し、経費については、均等割20%、人口割80%で按分
- 平成24年10月より、障害者虐待防止センターの機能を付加

2 事業実績

13 委託料

- 総事業費 10,797,383円
- 経費配分 均等割(20%) 人口割(80%)
- 白石町負担額 7,482,299円

3 事業効果

障害者やその家族からの相談に対し、より専門的な助言・指導ができるほか、24時間365日の対応が可能であり、きめ細かな対応ができる。

単位:千円

年度	24	会計	一般会計									
款	3	項	1	目	2	細事業名	地域活動支援センター機能強化事業				所属	長寿社会課
目 名 称	障害者福祉費					財源内訳					決算書頁	
目の決算額	584,994					国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
決算額 (予算額)	9,911 ( 10,017 )					1,500	750		527	7,134	70	
白石町総合計画 (人と大地がうらおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 2 章		健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			基本計画 第 2 節		高齢者・障がい者福祉の充実		
<p><b>1 事業概要</b>            在宅の障害者等を通所させ、創作的活動及び生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等の便宜を供与することにより、障害者等の地域生活の支援を図る。            本町では、平成19年度から特定非営利活動法人障害者生活支援センター蓮の実に事業を委託している。</p>												
<p><b>2 事業実績</b></p> <p>① 事業所名 特定非営利活動法人障害者生活支援センター蓮の実に(地域活動支援センター事業)            事業開始年月日 平成19年 4月 1日            事業内容 創作的活動、生産活動、機能訓練等            通所利用者 1日平均12人            補助金額 775万円【基本事業分:475万円・補助事業分(Ⅱ型):300万円】 大町町より負担金 527,000円</p> <p>② 事業所名 ほっとありあけ作業所(小規模作業所)            事業内容 モロヘイヤ生産・加工・販売            通所人員 10人            補助金額 375,000円</p> <p>③ 負担金 地域活動支援センター運営費負担金            ・「オアシスみふね」 2人 (武雄市) 546,000円            ・「鹿島作業所ひまわり」 1人 (鹿島市) 693,535円            ・「たちばな会」 1人 (嬉野市) 546,000円 決算額 9,910,535円</p>												
<p><b>3 事業効果</b>            障害者に生きがいと活動の場を提供し、在宅の障害者の自立及び社会参加の促進を図ることができる。</p>												

年度	24	会計	一般会計			単位:千円													
款	4	項	1	目	3	細事業名	太陽光発電導入推進事業			所屬	生活環境課								
目 名 称	環境衛生費					細事業名	太陽光発電導入推進事業			所屬	生活環境課								
目の決算額	34,532					財源内訳					決算書頁								
決算額	22,547					国庫	県費	地方債	その他	一般財源									
(予算額)						( 24,937 )									22,547	88			
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 6 章		自然環境と共生するまち			基本計画 第 節		環境にやさしいまちづくり									
<p>1 事業概要</p> <p>地球温暖化防止の一環として、自然エネルギーの利用を促進し、循環型社会の構築及び環境保全意識の高揚を図るため、住宅用太陽光発電システムを設置される方に対し、補助金を交付する。</p> <p>2 事業実績</p> <p>地域新エネルギー導入促進事業への取り組み</p> <p>-住宅用太陽光発電システム設置費補助</p> <p>白石町内の住宅に新たに太陽光発電システムを設置しようとする個人が対象。太陽電池の出力が10kW未満で未使用品(中古は対象外)が条件。1kw当たり3万円を補助し、上限額は10万円。 平成24年度は227件に補助を行った。</p> <table border="1" data-bbox="331 970 900 1098"> <tr> <td>予 算 額</td> <td>24,937千円</td> </tr> <tr> <td>補 助 額</td> <td>22,547千円</td> </tr> <tr> <td>実施対象件数</td> <td>227件</td> </tr> <tr> <td>太陽光設置事業費</td> <td>623,947千円</td> </tr> </table> <p>3 事業効果</p> <p>白石町内の太陽光設置世帯の普及率が10%を超え、環境に対する意識を高め、地域の特性を生かしたまちづくりに寄与した。</p>												予 算 額	24,937千円	補 助 額	22,547千円	実施対象件数	227件	太陽光設置事業費	623,947千円
予 算 額	24,937千円																		
補 助 額	22,547千円																		
実施対象件数	227件																		
太陽光設置事業費	623,947千円																		

単位:千円

年度	24	会計	一般会計			細事業名	容器包装廃棄物再商品化事業	所属	生活環境課		
款	4	項	2	目	2						
目 名 称	塵芥処理費										
目 の 決 算 額	223,160					財源内訳					
決算額 (予算額)	6,455 ( 7,499 )					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁 89
										6,455	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穰のまち)			基本構想 第 6 章		自然環境と共生するまち【自然環境の保全】			基本計画 第 2 節		環境にやさしいまちづくり	

1 事業概要

町内から収集した容器包装廃棄物を、容器包装リサイクル法の分別基準に基づいて、選別、圧縮・梱包等の分別基準適合化処理を業務委託する。  
更に、分別基準適合物についてはリサイクル協会へ再商品化処理を業務委託し、有価物としての付加価値が高い指定物(牛乳パック、スチール・アルミ缶)については売却処理する。

2 事業実績

品目	処理方法	処理数量	節名	支出額	備考
白色トレイ	トレイメーカーへ無償引渡し(メーカー側での自費リサイクル処理)	0.4t	需要費 (消耗品費)	40,530円	回収用ビニール袋等
牛乳パック	古紙問屋へ有価物として引渡し(対価はトイレトペーパーで受取り各学校へ配布)	6.2t			

品目	契約名	契約相手方	処理数量	委託料		備考
PET	ペットボトル分別基準適合化処理業務委託	㈱イワフチ	35.0t	661,122円	661,122円	分別・圧縮・梱包し、協会引渡し
カン	缶類分別基準適合化処理業務委託(白石地域)	㈱江口金属	15.5t	211,296円	341,555円	スチールとアルミに分別・圧縮し、有価物として売却処理
	缶類分別基準適合化処理業務委託(福富地域)	㈱江口金属	2.4t	32,483円		
	缶類分別基準適合化処理業務委託(有明地域)	㈲龍鳳商事 村島清掃	8.1t	97,776円		
ビン	ガラスびん分別基準適合化処理業務委託	㈱佐賀クリーン環境	99.3t	2,559,698円	2,632,949円	無色・茶色・その他の色に分別し、協会引渡し
	(びん再商品化処理)業務実施契約	㈱日本容器包装リサイクル協会	103.7t	73,251円		
プラ	廃プラ容器包装分別基準適合化処理業務委託	㈱イワフチ	79.1t	2,741,857円	2,779,097円	分別・圧縮・梱包し、協会引渡し
	(プラ再商品化処理)業務実施契約	㈱日本容器包装リサイクル協会	76.0t	37,240円		
小 計				6,414,723円		

容器包装廃棄物再商品化事業 6,455 千円

3 事業効果

収集した容器包装廃棄物を再資源化・再商品化することで、ごみの最終処分量の減量を図り、資源として有効利用が図れた。



年度	24	会計	一般会計			単位:千円						
款	4	項	2	目	2	細事業名	一般廃棄物収集運搬業務 (クリーンセンター搬入分)			所属	生活環境課	
目 名 称							塵芥処理費					
目の決算額						223,160						決算書頁
決算額						51,987						
(予算額)						( 52,008 )						89
						国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
									41,267	10,720		

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 6 章	自然環境と共生するまち【自然環境の保全】	基本計画 第 2 節	環境にやさしいまちづくり
-------------------------------	---------------	----------------------	---------------	--------------

1 事業概要

白石町行政区域全体を収集区域として収集・運搬を行う。対象は杵藤クリーンセンターに搬入可能な一般廃棄物の「もえるごみ」、「もえないごみ」、「粗大ごみ」の3品目を町内6ブロック(A1、A2、B、C、D、Eブロック)に区分して業務委託して行う。

2 事業実績

節	契約名	契約相手方	委託料(年額)	業 務 量			収集実績
				収集品目	収集回数	集積所数	
委託料	A1及びB～Dブロックのごみ収集運搬業務委託	㈱龍鳳商事 杵島清掃	36,069,600 円	可燃ごみ	週2回	185 ヶ所	2,766.9 t
				不燃ごみ	月1回	185 ヶ所	157.6 t
				粗大ごみ	月1回	133 ヶ所	80.7 t
	A2ブロックのごみ収集運搬業務委託	江口金属㈱	8,737,050 円	可燃ごみ	週2回	31 ヶ所	502.1 t
				不燃ごみ	月1回	31 ヶ所	45.4 t
				粗大ごみ	月1回	31 ヶ所	16.6 t
	Eブロックのごみ収集運搬業務委託	㈱コスモグリーン	7,179,900 円	可燃ごみ	週2回	54 ヶ所	756.6 t
				不燃ごみ	月1回	54 ヶ所	66.3 t
				粗大ごみ	月1回	10 ヶ所	18.9 t
計			51,986,550 円				4,411.1 t

ごみ収集運搬委託料(クリーンセンター搬入分) 51,987 千円

●ごみ処理手数料を充当 41,267 千円

3 事業効果

安定かつ効率的なごみの収集・運搬に努め、環境美化、ごみ出しのルール周知に努めながら衛生的な生活環境の向上を図れた。

年度	24	会計	一般会計							単位:千円		
款	4	項	2	目	2	細事業名	容器包装廃棄物収集運搬業務			所属	生活環境課	
目 名 称	塵芥処理費											
目の決算額	223,160					財源内訳						
決算額	20,486					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁	
(予算額)	( 20,520 )								3,053	17,433	89	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 6 章		自然環境と共生するまち【自然環境の保全】			基本計画 第 2 節		環境にやさしいまちづくり		

1 事業概要

白石町行政区域全体を収集区域として収集・運搬を行う。対象は町が定める分別収集計画の対象品目である資源ごみ(容器包装廃棄物)を、町内を地域又は6ブロック(A1、A2、B、C、D、Eブロック)に区分して業務委託して行う。

2 事業実績

節	契約名	契約相手方	委託料(年額)	業 務 量			収集実績
				収集品目	収集日	集積所数	
委託料	白石有明地域の資源ごみ(PET・カン・ビン)収集運搬業務委託	㈲龍鳳商事 杵島清掃	5,040,000 円	PET	毎月第1水曜日	216 ヶ所	29.3 t
				カン	毎月第2水曜日	216 ヶ所	23.6 t
				ビン	毎月第3水曜日	216 ヶ所	87.7 t
	福富地域の資源ごみ(PET・カン・ビン)収集運搬業務委託	㈲コスモグリーン	1,319,850 円	PET	毎月第3日曜日	10 ヶ所	5.7 t
				カン			2.4 t
				ビン			11.6 t
	A1及びB~Dブロックの廃プラ容器収集運搬業務	㈲龍鳳商事 杵島清掃	7,209,300 円	プラ	毎週土曜日	185 ヶ所	51.2 t
	A2ブロックの廃プラ容器収集運搬業務	江口金属㈱	3,577,350 円	プラ	毎週土曜日	31 ヶ所	14.1 t
	Eブロックの廃プラ容器収集運搬業務	㈲コスモグリーン	2,779,350 円	プラ	毎週土曜日	54 ヶ所	13.8 t
	資源ごみ(牛乳パック・トレイ)収集運搬及び分別業務委託	㈲龍鳳商事 杵島清掃	559,650 円	トレイ	毎週1回	1 ヶ所	0.4 t
紙パック				毎週1回	2 ヶ所	5.8 t	
計			20,485,500 円				245.6 t

分別収集運搬委託料(容器包装廃棄物分) 20,486 千円

- PETボトル収益市町村分配金を充当 1,452 千円
- 再商品化合理化拠出金を充当 196 千円
- 資源ごみ売却収益を充当 1,405 千円

3 事業効果

安定かつ効率的なごみの収集・運搬に努め、環境美化、ごみ出しのルール周知に努めながら衛生的な生活環境の向上を図れた。



単位:千円

年度	24	会計	一般会計			細事業名	浄化槽整備推進事業	所属	下水道課	
款	4	項	4	目	1					
目 名 称	下水道費					財源内訳				
目の決算額	407,882					国庫	県費	地方債	その他	一般財源
決算額 (予算額)	65,519 ( 66,360 )					13,850	13,053			38,616
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 1 章		ゆとりある快適なすみよいまち			基本計画 第 1 節		生活基盤の充実

1 事業概要

公共用水路の水質汚濁の原因に、炊事、洗濯、入浴などの日常生活に伴って排出される生活排水が大きな原因の一つになっている。水質汚濁を防止するため、家庭において設置される浄化槽の経費の一部を補助することにより生活環境の保全と公衆衛生の向上に寄与する。

2 事業実績

(単位:千円)

区分	H24年度 実績	左の財源内訳			
		国庫補助金	県補助金	その他	一般財源
負担金補助 及び交付金	20				20
	56				56
	65,443	13,850	13,053		38,540
計	65,519	13,850	13,053	0	38,616

(単位:基)

区分	平成23年度 までの基数	平成24年度 の実績基数	平成24年度末 基数
5人槽	156	11	167
7人槽	1,008	72	1,080
10人槽	365	4	369
11~20人槽	16	0	16
21~30人槽	16	1	17
31~50人槽	8	1	9
計	1,569	89	1,658

3 事業効果

浄化槽設置を促進し、公共用水域の水質汚濁防止を図った。

単位:千円

年度	24	会計	一般会計			細事業名	戸別所得補償経営安定推進事業費	所属	産業課	
款	6	項	1	目	3					
目 名 称	農業振興費									
目の決算額	81,093					財源内訳				
決算額 (予算額)	890 ( 890 )					国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							890			0
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穰のまち)		基本構想 第 3 章		活気と魅力ある豊かなまち【産業の振興】		基本計画 第 1 節		農林水産業の振興		
<p>1 事業概要</p> <p>農業従事者の高齢化や担い手・後継者不足、耕作放棄地の増加など「人と農地の問題」が深刻化する中、それぞれの集落・地域において話し合いを通じた合意形成により、集落・地域が抱える人と農地の問題を解決するための「未来の設計図」となる「人・農地プラン」を策定する。また、人・農地プランに定めた地域の中心となる経営体への農地集積の協力者に交付金を交付する。</p> <p>2 事業実績</p> <p>(1)人・農地プランの策定 策定プラン数:9 (白石地区・六角地区・北有明地区・須古地区・福富地区・南有明地区・錦江地区・竜王地区・有明干拓地区) 策定年月日:当初 平成24年11月1日 変更 平成25年3月28日(白石地区・北有明地区・福富地区) 中心経営体数:124 (個人 47 法人 7 集落営農組織 70) 検討会開催数:2回(平成24年10月・平成25年3月) 地区説明会開催数:12回</p> <p>(2)農地集積協力金(経営転換協力金)の交付 交付件数:1件 交付金額:50万円 交付対象面積:62a</p> <p>3 事業効果</p> <p>地域での話し合いにより地域農業のあり方について議論を進め、地域の中心となる経営体の確保やその経営体への農地集積を促すことができた。</p>										

単位:千円

年度	24	会計	一般会計			細事業名	農業振興地域整備計画費	所属	産業課	
款	6	項	1	目	3					
目 名 称	農業振興費									
目の決算額	81,093					財源内訳				
決算額 (予算額)	3,381 ( 3,381 )					国庫	県費	地方債	その他	一般財源
										3,381
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章		活気と魅力ある豊かなまち【産業の振興】		基本計画 第 1 節		農林水産業の振興	
<p>1 事業概要</p> <p>農業の振興を図ることが必要な農業振興地域について基礎調査を行い、現在の土地利用状況を十分把握することにより、旧町単位となっている農業振興地域整備計画を、白石町農業振興地域整備計画として一本化し、おおむね今後10年を見通し、情勢の変化に対応した適切な整備計画に変更する。</p> <p>2 事業実績</p> <p>(1) 事業実施期間 平成24年度～平成26年度</p> <p>(2) 平成24年度業務内容 農用地区域データ作成 農用地区域データと土地マスター・地積図データとのマッチング処理 白地地域データ作成 白地地域データと土地マスターデータとのマッチング処理 現況土地利用図作成 農用地面積集計</p> <p>(参考)</p> <p>平成25年度業務内容 基本方針(案)及び土地利用変更(案)作成 農業振興地域整備計画書(案)作成</p> <p>平成26年度業務内容 GIS環境設定、データセットアップ</p> <p>3 事業効果</p> <p>優良農地を確保・保全しながら、農業振興のための各種施策を計画的に実施することで本町農業の総合的な振興を図ることができる。 また、統合型GISへ実装することで、農用地管理の効率化が図れる。</p>										

年度	24	会計	一般会計			単位:千円																																										
款	6	項	1	目	4	細事業名	担い手農地集積促進事業			所属	産業課																																					
目 名 称	農地保有合理化推進事業費					目 的	担い手農地集積促進事業			所 属	産業課																																					
目の決算額	4,117					財源内訳																																										
決算額 (予算額)	2,384 ( 2,384 )					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁 96																																					
										2,384																																						
白石町総合計画 (人と大地がうらおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章		活気と魅力ある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節		農林水産業の振興																																						
<p>1 事業概要</p> <p>●助成要件</p> <p>①面的集積促進型(助成対象:水田経営所得安定対策加入者) 水田経営所得安定対策加入者で、農地の取得又は新たに6年以上の賃借権を設定し、かつその担い手が既存経営水田と合わせ1か所1ha以上の連担地となる面的集積を行い水田経営規模を拡大する。</p> <p>②作業効率化の確認として、集落営農組合代表者から確認書を受領する。</p> <p>●助成単価</p> <p>◆ 集積が異なる営農集落の場合      標準賃借料の1/2相当額(9,000円/10aを上限)</p> <p>◆ 集積が同一営農集落の場合      標準賃借料の1/4相当額(4,500円/10aを上限)</p> <p>●事業実施年度:平成21年度～平成22年度(助成期間:平成21年度～平成24年度)</p> <p>2 事業実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>助成対象者(人)</th> <th>筆数</th> <th>助成面積(m<sup>2</sup>)</th> <th>助成金額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売買</td> <td>24</td> <td>35</td> <td>104,896</td> <td>771,953</td> </tr> <tr> <td>利用権</td> <td>62</td> <td>126</td> <td>300,708</td> <td>1,611,611</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">設定 年 数</td> <td>6年</td> <td>44</td> <td>84</td> <td>198,341</td> </tr> <tr> <td>8年</td> <td>1</td> <td>8</td> <td>5,719</td> </tr> <tr> <td>9年</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2,007</td> </tr> <tr> <td>10年</td> <td>16</td> <td>33</td> <td>94,641</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>86</td> <td>161</td> <td>405,604</td> <td>2,383,564</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 事業効果</p> <p>農地の面的な集積及び作物の連担性を推進することにより、効率的な作業体系を確立する等先進的な営農に取り組む経営体の育成につながった。 裏作等で不作付け地の防止(水田フル活用の推進)を図ることができた。</p>												区分	助成対象者(人)	筆数	助成面積(m <sup>2</sup> )	助成金額(円)	売買	24	35	104,896	771,953	利用権	62	126	300,708	1,611,611	設定 年 数	6年	44	84	198,341	8年	1	8	5,719	9年	1	1	2,007	10年	16	33	94,641	計	86	161	405,604	2,383,564
区分	助成対象者(人)	筆数	助成面積(m <sup>2</sup> )	助成金額(円)																																												
売買	24	35	104,896	771,953																																												
利用権	62	126	300,708	1,611,611																																												
設定 年 数	6年	44	84	198,341																																												
	8年	1	8	5,719																																												
	9年	1	1	2,007																																												
	10年	16	33	94,641																																												
計	86	161	405,604	2,383,564																																												

年度	24	会計	一般会計			単位:千円						
款	6	項	1	目	5	細事業名	さかの米・麦・大豆競争力強化対策事業				所属	産業課
目	名称											
目の	決算額					19,479					決算書頁	
決算額	9,472 (予算額) ( 9,504 )					財源内訳						
											国庫	県費
							7,285			2,187	97	

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 3 章	活気と魅力ある豊かなまち【産業の振興】	基本計画 第 1 節	農林水産業の振興
-------------------------------	---------------	---------------------	---------------	----------

1 事業概要

水田農業の担い手である集落営農組織等の経営安定と競争力のある売れる米・麦・大豆づくりの実現を図るため、低コストで効率的な経営が可能となる施設・機械の導入に対し、助成を行う。

2 事業実績

地区	事業主体	事業内容	能力・事業量	事業費(円)			
				県費	町費	実施主体	計
白石	白石西部集落営農組合	大豆コンバイン	38. 4PS・1台	2,319,000	696,000	3,943,350	6,958,350
白石	福田南(FM会)営農組合	大豆コンバイン	38. 4PS・1台	2,319,000	696,000	3,943,350	6,958,350
六角	六角営農組合(吉村作業班)	トラクターカルチ	2連・1台	243,000	73,000	413,750	729,750
北有明	一の竜営農組合	大豆不耕起播種機	2条播・1台	243,000	73,000	417,950	733,950
北有明	二の竜営農組合	大豆不耕起播種機	2条播・1台	243,000	73,000	417,950	733,950
北有明	弥築集落営農組合	大豆不耕起播種機	2条播・2台	486,000	146,000	835,900	1,467,900
竜王	竜王地区営農組合	大豆不耕起播種機	2条播・1台	243,000	73,000	417,950	733,950
有明干拓	5A集落営農組合	農業用機械倉庫	69. 56㎡・1棟	1,189,000	357,000	2,022,950	3,568,950
	8組織8件			7,285,000	2,187,000	12,413,150	21,885,150

※補助率  
県 1/3  
町 1/10

3 事業効果

機械の大型化、共有化による農作業の省力化、低コスト化が可能となり、集落営農組織等の育成を図ることができた。



単位:千円

年度	24	会計	一般会計																										
款	6	項	1	目	5	細事業名	農業者戸別所得補償制度推進事業費			所属	産業課																		
目 名 称	米政策対策費						農業者戸別所得補償制度推進事業費																						
目 の 決 算 額	19,479					財源内訳					決算書頁																		
決算額	10,007					国庫	県費	地方債	その他	一般財源																			
(予算額)	( 10,007 )						9,073			934	96																		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章		活気と魅力ある豊かなまち【産業の振興】		基本計画 第 1 節		農林水産業の振興																				
<p>1 事業概要</p> <p>農業経営の安定と国内生産力の確保を図り、もって食料自給率の向上と農業の多面的機能を維持するための農業者戸別所得補償制度の実施にあたって、事務事業の推進や要件確認などにあたる白石町農業再生協議会に対して必要な経費を助成し、同制度の推進及びこれを円滑に実施するための行政と農業者団体等の連携体制の構築、戦略作物の生産振興や地域農業の振興を図るとともに、耕作放棄地の再生利用、担い手の育成・確保等の取り組みを促進する。</p> <p>2 事業実績</p> <p>・白石町農業再生協議会業務内容 戸別所得補償制度の普及・推進活動、生産数量目標の設定、申請書類の配布・回収、対象作付面積等の確認 農業者の水田情報等のシステム入力、農地集積・規模拡大、集落営農組織の法人化推進、協議会の運営</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額(千円)</th> <th>説 明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委員報償</td> <td>281</td> <td>協議会等委員報償費</td> </tr> <tr> <td>事務等経費</td> <td>5,135</td> <td>消耗品費・印刷製本費・通信運搬費・会議費等・使用料・賃借料・賃金</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>4,519</td> <td>申請書類等の配布、回収・転作確認事務委託</td> </tr> <tr> <td>助成金</td> <td>72</td> <td>担い手研究会</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>10,007</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3 事業効果</p> <p>農業者戸別所得補償制度の普及推進を行うことにより、農業者にとって同制度への理解が深まり、生産数量目標の達成を図ることができた。また、農業生産に係るコスト割れを是正することで、農家が安心して農業に取り組むことができ、食料自給率向上を図ることに寄与した。</p>												区 分	金 額(千円)	説 明	委員報償	281	協議会等委員報償費	事務等経費	5,135	消耗品費・印刷製本費・通信運搬費・会議費等・使用料・賃借料・賃金	委託料	4,519	申請書類等の配布、回収・転作確認事務委託	助成金	72	担い手研究会	合 計	10,007	
区 分	金 額(千円)	説 明																											
委員報償	281	協議会等委員報償費																											
事務等経費	5,135	消耗品費・印刷製本費・通信運搬費・会議費等・使用料・賃借料・賃金																											
委託料	4,519	申請書類等の配布、回収・転作確認事務委託																											
助成金	72	担い手研究会																											
合 計	10,007																												

年度	24	会計	一般会計			単位:千円																																																																																																																																																																									
款	6	項	1	目	3	細事業名	さかの強い園芸農業確立対策事業				所属	産業課																																																																																																																																																																			
目名称	農業振興費						財源内訳																																																																																																																																																																								
目の決算額	81,093					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁																																																																																																																																																																				
決算額 (予算額)	65,430 ( 65,800 )						51,594			13,836	95																																																																																																																																																																				
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第3章			活気と魅力ある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第1節		農林水産業の振興																																																																																																																																																																				
<p><b>1 事業概要</b>            農業を取り巻く情勢が大きく変化している中で、「省資源・環境保全型の園芸生産の取組拡大」や、新規園芸農家の育成、集落営農と連携した園芸生産、更には契約取引の拡大などの「新たな園芸生産の取組拡大」などを推進し「さかの強い園芸農業」を確立していくため、省資源・環境保全型の園芸生産の取組拡大や新たな園芸生産の取組拡大に必要な機械・施設等の整備を推進する。</p> <p><b>2 事業実績</b>            ○事業実施主体 任意組合、農業協同組合、農業者、農業法人 等            ○補助率 県1/3以内、町1/10以上 ※高機能ハウスの整備促進は、県4/10以内、町1/10以上            ※省エネ推奨対策(脱石油・省石油対策)の取組みで県の推奨対策を満たすハウスについては、県1/2以内、町1/10以上            ○事業内容            【事業主体数 計41組合(又は人)】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品目名</th> <th rowspan="2">導入機械・施設</th> <th rowspan="2">事業量</th> <th rowspan="2">事業主体数 (のべ数)</th> <th rowspan="2">受益戸数 (のべ戸)</th> <th rowspan="2">受益面積 (のべa)</th> <th rowspan="2">事業費(円)</th> <th colspan="3">財源内訳(円)</th> </tr> <tr> <th>県費</th> <th>町費</th> <th>事業主体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アスパラガス、こねぎ</td> <td>猛暑対応ハウス</td> <td>3,912㎡</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>39</td> <td>23,666,148</td> <td>9,440,000</td> <td>2,368,000</td> <td>11,858,148</td> </tr> <tr> <td>花き、いちご、きゅうり</td> <td>多層被覆装置、循環扇 他</td> <td>17,187㎡、146台</td> <td>2</td> <td>24</td> <td>483</td> <td>28,053,248</td> <td>13,353,000</td> <td>2,807,000</td> <td>11,893,248</td> </tr> <tr> <td>いちご、きゅうり</td> <td>園芸ハウスの長寿命化対策</td> <td>20,015㎡</td> <td>2</td> <td>11</td> <td>200</td> <td>15,651,065</td> <td>4,748,000</td> <td>1,425,000</td> <td>9,478,065</td> </tr> <tr> <td>温州みかん</td> <td>根域制限栽培施設</td> <td>800㎡</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>8</td> <td>1,439,486</td> <td>479,000</td> <td>144,000</td> <td>816,486</td> </tr> <tr> <td>たまねぎ</td> <td>除湿乾燥システム</td> <td>10台</td> <td>8</td> <td>15</td> <td>2,220</td> <td>11,383,045</td> <td>3,730,000</td> <td>1,124,000</td> <td>6,529,045</td> </tr> <tr> <td>たまねぎ</td> <td>播種機</td> <td>1台</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>610</td> <td>3,372,300</td> <td>1,124,000</td> <td>338,000</td> <td>1,910,300</td> </tr> <tr> <td>たまねぎ</td> <td>定植機(全自動移植機)</td> <td>2台</td> <td>2</td> <td>10</td> <td>1,370</td> <td>6,725,550</td> <td>2,241,000</td> <td>672,000</td> <td>3,812,550</td> </tr> <tr> <td>たまねぎ</td> <td>定植機(半自動移植機)</td> <td>7台</td> <td>7</td> <td>12</td> <td>2,145</td> <td>9,061,300</td> <td>3,018,000</td> <td>909,000</td> <td>5,134,300</td> </tr> <tr> <td>たまねぎ</td> <td>乗用防除機</td> <td>4台</td> <td>4</td> <td>13</td> <td>2,200</td> <td>12,269,937</td> <td>4,089,000</td> <td>1,229,000</td> <td>6,951,937</td> </tr> <tr> <td>たまねぎ</td> <td>収穫機(マルチ収穫機)</td> <td>13台</td> <td>11</td> <td>55</td> <td>3,296</td> <td>15,841,450</td> <td>5,277,000</td> <td>1,589,000</td> <td>8,975,450</td> </tr> <tr> <td>たまねぎ</td> <td>収穫機(ピッカー)</td> <td>5台</td> <td>5</td> <td>21</td> <td>1,690</td> <td>7,236,250</td> <td>2,411,000</td> <td>725,000</td> <td>4,100,250</td> </tr> <tr> <td>キャベツ</td> <td>定植機(半自動移植機)</td> <td>1台</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>280</td> <td>1,304,100</td> <td>434,000</td> <td>131,000</td> <td>739,100</td> </tr> <tr> <td>キャベツ</td> <td>野菜運搬車</td> <td>3台</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>280</td> <td>1,650,000</td> <td>550,000</td> <td>165,000</td> <td>935,000</td> </tr> <tr> <td>れんこん</td> <td>収穫機(レンコン掘機)</td> <td>1台</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>300</td> <td>2,100,000</td> <td>700,000</td> <td>210,000</td> <td>1,190,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>—</td> <td>47</td> <td>184</td> <td>—</td> <td>139,753,879</td> <td>51,594,000</td> <td>13,836,000</td> <td>74,323,879</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;"><b>65,430,000</b></p>													品目名	導入機械・施設	事業量	事業主体数 (のべ数)	受益戸数 (のべ戸)	受益面積 (のべa)	事業費(円)	財源内訳(円)			県費	町費	事業主体	アスパラガス、こねぎ	猛暑対応ハウス	3,912㎡	1	4	39	23,666,148	9,440,000	2,368,000	11,858,148	花き、いちご、きゅうり	多層被覆装置、循環扇 他	17,187㎡、146台	2	24	483	28,053,248	13,353,000	2,807,000	11,893,248	いちご、きゅうり	園芸ハウスの長寿命化対策	20,015㎡	2	11	200	15,651,065	4,748,000	1,425,000	9,478,065	温州みかん	根域制限栽培施設	800㎡	1	1	8	1,439,486	479,000	144,000	816,486	たまねぎ	除湿乾燥システム	10台	8	15	2,220	11,383,045	3,730,000	1,124,000	6,529,045	たまねぎ	播種機	1台	1	5	610	3,372,300	1,124,000	338,000	1,910,300	たまねぎ	定植機(全自動移植機)	2台	2	10	1,370	6,725,550	2,241,000	672,000	3,812,550	たまねぎ	定植機(半自動移植機)	7台	7	12	2,145	9,061,300	3,018,000	909,000	5,134,300	たまねぎ	乗用防除機	4台	4	13	2,200	12,269,937	4,089,000	1,229,000	6,951,937	たまねぎ	収穫機(マルチ収穫機)	13台	11	55	3,296	15,841,450	5,277,000	1,589,000	8,975,450	たまねぎ	収穫機(ピッカー)	5台	5	21	1,690	7,236,250	2,411,000	725,000	4,100,250	キャベツ	定植機(半自動移植機)	1台	1	6	280	1,304,100	434,000	131,000	739,100	キャベツ	野菜運搬車	3台	1	6	280	1,650,000	550,000	165,000	935,000	れんこん	収穫機(レンコン掘機)	1台	1	1	300	2,100,000	700,000	210,000	1,190,000	計		—	47	184	—	139,753,879	51,594,000	13,836,000	74,323,879
品目名	導入機械・施設	事業量	事業主体数 (のべ数)	受益戸数 (のべ戸)	受益面積 (のべa)	事業費(円)	財源内訳(円)																																																																																																																																																																								
							県費	町費	事業主体																																																																																																																																																																						
アスパラガス、こねぎ	猛暑対応ハウス	3,912㎡	1	4	39	23,666,148	9,440,000	2,368,000	11,858,148																																																																																																																																																																						
花き、いちご、きゅうり	多層被覆装置、循環扇 他	17,187㎡、146台	2	24	483	28,053,248	13,353,000	2,807,000	11,893,248																																																																																																																																																																						
いちご、きゅうり	園芸ハウスの長寿命化対策	20,015㎡	2	11	200	15,651,065	4,748,000	1,425,000	9,478,065																																																																																																																																																																						
温州みかん	根域制限栽培施設	800㎡	1	1	8	1,439,486	479,000	144,000	816,486																																																																																																																																																																						
たまねぎ	除湿乾燥システム	10台	8	15	2,220	11,383,045	3,730,000	1,124,000	6,529,045																																																																																																																																																																						
たまねぎ	播種機	1台	1	5	610	3,372,300	1,124,000	338,000	1,910,300																																																																																																																																																																						
たまねぎ	定植機(全自動移植機)	2台	2	10	1,370	6,725,550	2,241,000	672,000	3,812,550																																																																																																																																																																						
たまねぎ	定植機(半自動移植機)	7台	7	12	2,145	9,061,300	3,018,000	909,000	5,134,300																																																																																																																																																																						
たまねぎ	乗用防除機	4台	4	13	2,200	12,269,937	4,089,000	1,229,000	6,951,937																																																																																																																																																																						
たまねぎ	収穫機(マルチ収穫機)	13台	11	55	3,296	15,841,450	5,277,000	1,589,000	8,975,450																																																																																																																																																																						
たまねぎ	収穫機(ピッカー)	5台	5	21	1,690	7,236,250	2,411,000	725,000	4,100,250																																																																																																																																																																						
キャベツ	定植機(半自動移植機)	1台	1	6	280	1,304,100	434,000	131,000	739,100																																																																																																																																																																						
キャベツ	野菜運搬車	3台	1	6	280	1,650,000	550,000	165,000	935,000																																																																																																																																																																						
れんこん	収穫機(レンコン掘機)	1台	1	1	300	2,100,000	700,000	210,000	1,190,000																																																																																																																																																																						
計		—	47	184	—	139,753,879	51,594,000	13,836,000	74,323,879																																																																																																																																																																						
<p><b>3 事業効果</b> 本町の農業生産所得は、園芸作物の出来不出来で大きく左右されることから、本事業を推進することによりしるしい農業の発展に努めた。</p>																																																																																																																																																																															

年度	24	会計	一般会計								単位:千円	
款	6	項	1	目	3	細事業名	(強い農業づくり交付金) 産地競争力強化事業				所属	産業課
目名称	農業振興費											
目の決算額	81,093					財源内訳					決算書頁	
決算額	3,350					国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)	( 3,750 )						3,350			0	96	
白石町総合計画 (人と大地がうらおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章			活気と魅力ある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1- 節		農林水産業の振興	

1 事業概要

本町は、たまねぎの責任供給産地として早生種から中晩生種まで安定した出荷が望まれている。しかし、近年では、生産者の高齢化により、「吊り玉作業」の労力を必要とする中晩生種から比較的省力で済む早生種への転換が進む傾向にあり、また、中晩生たまねぎは、早生に比べ労働時間が長い上、生産者個々の吊り小屋による貯蔵保管は、夏場の高温で品質低下を招くこともあり、コンテナによる低温貯蔵(予措)が急務となっている。

このため、予措保管施設を整備し、責任産地としてのたまねぎの安定供給、余剰労力の確保による生産安定及び面積拡大を図る。

2 事業実績

- 事業実施主体 佐賀県農業協同組合
- 総事業費 11,760,000円 (内訳: 補助対象内 7,035,000円 + 補助対象外 4,725,000円) ※補助対象外は、屋根改修工事、仮設工事、監理料等。
- 補助率 国 1/2以内
- 事業実施箇所 新明地区 (有明干拓第56棟番 :3A公民館隣)

事業内容	処理能力	品目名	受益戸数 (戸)	受益面積 (ha)	事業量	事業費(円)	財源内訳(円)	
							国交付金(県費)	事業主体
たまねぎ予措保管施設	139t	玉葱 (中晩生)	124	83.3	1式	7,035,000	3,350,000	3,685,000

※事業費は補助対象事業費。

3 事業効果

たまねぎの早生種から中晩生種までの安定出荷、また、余剰労力の確保による生産安定・面積拡大を目指すことにより、農業経営の安定を図った。

単位:千円

年度	24	会計	一般会計			細事業名	新規就農総合支援事業					所属	産業課
款	6	項	1	目	2		農業総務費						
目	名称					農業総務費					決算書頁		
目の	決算額					113,589					決算書頁		
決算額	12,019					財源内訳					94		
						国庫	県費	地方債	その他	一般財源			
(予算額)	( 12,125 )					12,000				19			
白石町総合計画 (人と大地がうおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章		活気と魅力ある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 1 節		農林水産業の振興		

1 事業概要

・農業従事者の高齢化が急速に進展する中、持続可能な力強い農業を実現するには、青年の新規就農者及び経営継承者を大幅に増加させる必要がある。  
 新規就農や経営継承をするに当たっては、技術の習得や所得の確保等が課題となっていることから、就農前後の青年就農者に対する給付金の給付、農業法人等の青年就農者の雇用における実践的な研修への助成、高度な経営力・地域リーダーとしての人間力を養成する農業経営教育機関等に対する支援、就農に関する相談体制の整備を行うことにより、青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図り、青年就農者の大幅な増大を図った。

2 事業実績

・事業主体 農業者

区 分	給付期間別対象者数(金額)						
	1年	2年	3年	4年	5年	5年のうち半期	
経営 開始型	9人	0人	2人	2人	2人	3人	2人
	12,000千円	0千円	3,000千円	3,000千円	3,000千円	3,000千円	1,500千円
うち 夫婦	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円

※24年度は特例措置として7名分については、給付対象期間より前に給付を行っている。(前倒し給付)

消耗品費 19千円

3 事業効果

・経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対し、就農意欲の喚起と就農後の定着を図ることができた。

年度	24	会計	一般会計								単位:千円
款	6	項	1	目	3	細事業名	スクミリンゴガイ駆除対策事業			所属	産業課
目名称	農業振興費										
目の決算額	81,093					財源内訳					決算書頁
決算額	1,708					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
(予算額)	( 1,740 )								1,708		95
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穰のまち)			基本構想 第 3 章			活気と魅力ある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節		農林水産業の振興

1 事業概要

このスクミリンゴガイ(通称:ジャンボタニシ)駆除対策については、平成17年度から18年度において実施をし、天敵であるすっぽんを放流した結果、被害が縮小に向かっていた。

しかし、このところ、釣り人によるすっぽんの捕獲が増加し、生息数も減少しているものと思われ、スクミリンゴガイの水稻食害が再び増加傾向にあり、不正薬剤の使用防止、環境美化保全の観点も含め、駆除目的でのすっぽん購入し、事業実施者に支給することで、被害の縮減を図った。

2 事業実績

生産組合や集落営農組合から、スクミリンゴガイ駆除を目的として、すっぽん導入の要望があった組合に支給し、1,000匹放流した。  
すっぽん捕獲禁止看板を87カ所に設置した。

需用費	消耗品費	すっぽん購入	1,000匹 × @1,400円 × 1.05 =	1,470,000 円
		看板製作	87枚 × @2,600円 × 1.05 =	237,510 円
合 計				1,707,510 円

3 事業効果

当該事業を実施することにより、スクミリンゴガイを駆除することにより、水稻への食害を減少させ、収量の確保、品質向上を目指した。

年度	24	会計	一般会計			単位:千円																												
款	2	項	1	目	8	細事業名	有明佐賀空港夜間貨物便基金畜産振興事業			所属	産業課																							
目 名 称	地域づくり推進費					財源内訳																												
目の決算額	34,637					決算書頁																												
決算額	1,232 (予算額) ( 2,970 )					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	54																							
(予算額)														1,232																				
白石町総合計画 (人と大地がうろおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章		活気と魅力ある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節		農林水産業の振興																								
<p>1 事業概要</p> <p>高品質で安全安心な畜産物の生産拡大及び町産畜産物の銘柄確立を図るため、白石町有明佐賀空港夜間貨物便基金を活用し、農業者が組織する団体（白石地区肥育部会、白石地区和牛改良組合、白石地区酪農部会）が行う事業に対し補助金を交付し、町内の畜産業の振興を図る。</p> <p>○事業内容 肉質改善、販売、繁殖受胎率向上、優良種牛凍結精液助成、繁殖成績向上対策</p> <p>○補助率 80%</p> <p>○補助実施期間 平成24年度～平成26年度の3年間</p> <p>2 事業実績 <span style="float: right;">(単位:円)</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>事業内容</th> <th>事業費</th> <th>補助率</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>白石地区肥育部会</td> <td>肉質改善 販売対策</td> <td style="text-align: right;">99,112</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">80%</td> <td style="text-align: right;">79,000</td> </tr> <tr> <td>白石地区和牛改良組合</td> <td>繁殖受胎率向上 優良種牛凍結精液助成</td> <td style="text-align: right;">2,338,350</td> <td style="text-align: right;">833,000</td> </tr> <tr> <td>白石地区酪農部会</td> <td>繁殖成績向上対策</td> <td style="text-align: right;">409,500</td> <td style="text-align: right;">320,000</td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td style="text-align: right;">1,232,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 事業効果</p> <p>白石町有明佐賀空港夜間貨物便基金を活用し、町内の畜産業の環境保全及び地域振興を図ることができた。</p>												名称	事業内容	事業費	補助率	補助金額	白石地区肥育部会	肉質改善 販売対策	99,112	80%	79,000	白石地区和牛改良組合	繁殖受胎率向上 優良種牛凍結精液助成	2,338,350	833,000	白石地区酪農部会	繁殖成績向上対策	409,500	320,000					1,232,000
名称	事業内容	事業費	補助率	補助金額																														
白石地区肥育部会	肉質改善 販売対策	99,112	80%	79,000																														
白石地区和牛改良組合	繁殖受胎率向上 優良種牛凍結精液助成	2,338,350		833,000																														
白石地区酪農部会	繁殖成績向上対策	409,500		320,000																														
				1,232,000																														

年度	24	会計	一般会計							単位:千円	
款	6	項	1	目	6	細事業名	繁殖雌牛導入事業費補助金			所属	産業課
目名称	畜産業費										
目の決算額	3,028					財源内訳					決算書頁
決算額	1,450					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
(予算額)	1,450									1,450	97
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章			活気と魅力ある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節		農林水産業の振興

1 事業概要

景気後退による消費低迷や安価な輸入牛肉の流通により、牛肉の市場取引価格が下落し、併せて飼料穀物の値上がりによる飼料価格の高騰により、町内畜産農家は、繁殖雌牛の更新又は増頭が困難となっていることから、繁殖雌牛を町内保留・更新又は導入し、繁殖雌牛頭数の維持又は増頭を図ることにより、町内素牛の確保と畜産農家の経営基盤を強化する。

(対象要件)

- 町内畜産農家で繁殖雌牛を保留、又は購入により更新・増頭する
- 対象牛を導入時より5年間飼育する者

(補助金)

- 保留については、対象牛1頭当たり20,000円以内
- 更新や増頭のための購入については、対象牛1頭当たり導入価格の1/10以内(上限50,000円)

(事業主体)

- 佐賀県農業協同組合

2 事業実績

区分	導入頭数	補助単価	補助金額	備 考
保留分	25 頭	8,000 円/1頭当たり	200,000 円	導入頭数が多かったため、予算の範囲内で支出した。
購入分	35 頭	35,713.3 円/1頭当たり	1,249,968 円	
			1,449,968 円	

3 事業効果

町内繁殖雌牛の維持、増頭により、畜産農家の経営基盤の強化と経営の安定が図られた。

単位:千円

年度	24	会計	一般会計								
款	7	項	1	目	1	細事業名	しろいしブランド確立対策事業			所属	産業課
目 名 称	商工振興費										
目の決算額	106,094					財源内訳					
決算額 (予算額)	4,137 ( 4,300 )					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁 109
										4,137	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章		活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 4 節		新たな地域活力の創出	

### 1 事業概要

本町の産業振興及び経営の安定を図るため、農協、商工会、漁協その他関係機関と連携を図り、商工製品の開発、産地間競争が激しい農・海産物のブランド化に努め、販売促進、有利販売のための施策を講じた。農産物の消費地である福岡や首都圏において、催事等を開催しPRに努めた。また、レンコンの主要消費地である福岡市、北九州市を中心とした福岡県在住者を本町に招待し、農業体験、クルージング等を通して、本町のPR及び本町産農産物の販売促進を図った。特産物のブランド化・PRにマスコットキャラクター活用した各種事業を展開した。

### 2 事業実績

- (1) 販売促進活動 ……キャラクターグッズ・のぼり・看板の作成。
- (2) 産物消費宣伝活動 ……佐賀うまいものフェア(イオン九州大野城SS)特産物宣伝等。  
東京イトーヨーカドーアリオ北砂店 白石フェア開催 ・三越日本橋店佐賀県フェア
- (3) 米消費拡大対策事業 ……歌垣ロードレース、ぺったんこ祭、小中学校での消費拡大宣伝活動。
- (4) 消費地との交流事業 ……農業体験及び地域資源を活用した消費者との交流。  
◆参加者 福岡県内より 合計 45名(大人31名、子供14名)

事業主体 白石町特産物PR推進協議会

(1)協議会宣伝活動	2,471千円	-グッズ等売上	1,327千円
(2)産物消費宣伝活動	1,108千円		
(3)米消費拡大対策事業	951千円		
(4)消費地との交流事業	934千円		
合計	5,464千円		

### 3 事業効果

事業目的の推進を図るため白石町特産物PR推進協議会を設立し、町・農協・商工会・漁協その他関係機関との連携を図り特産物等の消費宣伝活動が推進された。また、「れんこんの穴から未来が見えるinしろいし」においては、農業体験等を通し、本町のPR及びレンコン等白石産農産物の消費宣伝が図られた。特産物PRのためのマスコットキャラクター「しろいしみのりちゃん」の活用により、ブランド力の向上、事業展開の拡大が図られている。



年度	24	会計	一般会計			単位:千円																			
款	7	項	1	目	1	細事業名	まちの元気づくりプロジェクト支援事業			所属	産業課														
目 名 称	商工振興費					財源内訳																			
目 の 決 算 額	106,094					決算書頁																			
決算額	1,500 (予算額) ( 1,500 )					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	109														
(予算額)																1,500									
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 章		活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 節		商工業の振興															
<p>1 事業概要</p> <p>町民の世代間交流・文化・教養等の多様な活動の拠点として開設された町内商店街の空き店舗を有効に活用し、地域の活性化を図るため、白石町商工会が取り組んでいる「まちの元気づくりプロジェクト(商店街再生・改造)」事業に対し、予算の範囲内において補助金を交付し、町民の世代間交流・文化・教養等の多様な活動の拠点として開設された「元気のたまご」を地域コミュニティづくりに貢献させると同時に、商店街の活性化と商工業の振興と地域振興に資する。</p> <p>2 事業実績 (単位:円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> <th>決算額</th> <th>補助金</th> <th>雇用</th> <th>期間</th> <th>担当課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>まちの元気づくりプロジェクト支援事業</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街内の店舗案内</li> <li>・商店街内の店舗の買い物代行</li> <li>・子供の一時預かり</li> <li>・いこカー利用者支援</li> <li>・商店街組織化推進</li> <li>・まちの元気づくりイベント企画運営</li> </ul> </td> <td>2,440,040</td> <td>1,500,000</td> <td>1人</td> <td>4月 ～ 3月</td> <td>産業課</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業主体:白石町商工会</p> <p>3 事業効果</p> <p>空き店舗を利用した「元気のたまご」が町民の交流の場として活用され、地域コミュニティづくりにつながっていった。これまでになかった商店街独自のイベントも開催され、これからの進展が期待されている。</p>												事業名	事業内容	決算額	補助金	雇用	期間	担当課	まちの元気づくりプロジェクト支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街内の店舗案内</li> <li>・商店街内の店舗の買い物代行</li> <li>・子供の一時預かり</li> <li>・いこカー利用者支援</li> <li>・商店街組織化推進</li> <li>・まちの元気づくりイベント企画運営</li> </ul>	2,440,040	1,500,000	1人	4月 ～ 3月	産業課
事業名	事業内容	決算額	補助金	雇用	期間	担当課																			
まちの元気づくりプロジェクト支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街内の店舗案内</li> <li>・商店街内の店舗の買い物代行</li> <li>・子供の一時預かり</li> <li>・いこカー利用者支援</li> <li>・商店街組織化推進</li> <li>・まちの元気づくりイベント企画運営</li> </ul>	2,440,040	1,500,000	1人	4月 ～ 3月	産業課																			

年度	24	会計	一般会計			単位:千円					
款	7	項	1	目	2	細事業名	まちおこし事業補助金			所属	産業課
目 名 称	観光費					財源内訳					
目の決算額	29,012					決算書頁					
決算額	5,721					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	110
(予算額)						( 6,200 )					
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章			活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 4 節		新たな地域活力の創出
<b>1 事業概要</b>											
<p>本事業は、町・農協・漁協・商工会をはじめ婦人連絡協議会・町文化協会・まちおこしグループ等の町内各種団体が連携し、イベント等を開催することによる町のPRはもとより、町民の交流を図り、異業種の交流による新たな個人事業の展開など町及び町民の活性化を目的とする。尚、本事業の事業経費については町、杵藤地区広域圏組合、農協、商工会、町内3漁協の補助金・協賛金及びその他団体・個人からの協賛金を充てる。</p>											
<b>2 事業実績</b>											
<p>町内各種団体の代表者による白石町まちおこし運営委員会を設立し、町の年間イベントとして春・夏・秋にイベント開催を計画した。また、各イベント開催にあたり、各地域で実行委員会を組織し、町民一体となったイベントを実施した。</p>											
<p>しろいし歌垣春まつり … 平成24年 4月22日 歌垣公園 【集客数】約4,000名 決算額 1,330,492円          しろいし夏まつり … 平成24年 8月16日 ふくどみマイランド公園 【集客数】約8,000名 決算額 2,759,952円          しろいしぺったんこ祭 … 平成24年 11月18日 有明スカイパークふれあい郷 【集客数】約14,000名 決算額 3,486,119円</p>											
<p>総事業費          7,576,563円 (町補助金 5,721,362円 杵藤地区広域圏組合補助金618,000円 農協 166,100円 商工会 166,100円 3漁協 各55,367円          その他協賛金等 738,900円)</p>											
<b>3 事業効果</b>											
<p>事業目的の推進を図るための白石町まちおこし運営委員会の設立し、春・夏・秋それぞれのイベント開催計画の企画等からの実行委員会の設立を行ったので、民間主導型のまちおこし事業の推進体制が確立されつつある。また、若い実行委員の参加も増えて、それぞれのイベントにおいては町内外から参加があり、町民の交流と町のPRが図られた。</p>											

年度	24	会計	一般会計							単位:千円																	
款	7	項	1	目	2	細事業名	白石町情報発信事業(緊急雇用対策)			所属	産業課																
目 名 称	観光費					財源内訳					決算書頁																
目 の 決 算 額	29,012					国庫	県費	地方債	その他	一般財源																	
決算額	18,378						18,378				110																
(予算額)	( 19,296 )																										
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章		活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 4 節		新たな地域活力の創出																	
<p>1 事業概要 白石町の観光、歴史的資産、特産品、人物等を活用し、その情報をラジオで情報発信することで観光客の増加を促し町産業の振興と活性化を図る。24年度は従来の県内放送に加え、町産品の一大消費地である福岡県にもラジオ情報を発信した。また、佐賀県緊急雇用創出基金事業を活用し、失業者に対して、次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供する等の事業を実施し、これらの者の生活の安定を図った。</p> <p>2 事業実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>内容</th> <th>事業費(千円)</th> <th>新規雇用数</th> <th>雇用日数</th> <th>実施期間</th> <th>実施方法</th> <th>事業担当課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>白石町情報発信事業</td> <td>県の緊急雇用創出事業を活用してラジオ放送を利用した町PR番組を作製し、番組の制作・委託事業による情報番組の発信(福岡県内を追加)</td> <td>18,378</td> <td>6</td> <td>660</td> <td>5月~3月</td> <td>委託</td> <td>産業課</td> </tr> </tbody> </table> <p>委託先      NBC長崎放送 (放送は、NBCラジオ佐賀及びRKBラジオ福岡)</p> <p>3 事業効果 放送は、県内版6月から毎週日曜日の午前10時から30分番組、福岡版は毎週水曜日の午後5時20分から10分番組でONAIR。番組名「採れたて！旬感☆白石」と題し、白石町をラジオを通して広くPRすることができた。</p>												事業名	内容	事業費(千円)	新規雇用数	雇用日数	実施期間	実施方法	事業担当課	白石町情報発信事業	県の緊急雇用創出事業を活用してラジオ放送を利用した町PR番組を作製し、番組の制作・委託事業による情報番組の発信(福岡県内を追加)	18,378	6	660	5月~3月	委託	産業課
事業名	内容	事業費(千円)	新規雇用数	雇用日数	実施期間	実施方法	事業担当課																				
白石町情報発信事業	県の緊急雇用創出事業を活用してラジオ放送を利用した町PR番組を作製し、番組の制作・委託事業による情報番組の発信(福岡県内を追加)	18,378	6	660	5月~3月	委託	産業課																				

単位:千円

年度	24	会計	一般会計			細事業名	地盤沈下対策事業費負担金	所属	農村整備課		
款	6	項	1	目	7						
目 名 称	農地費					財源内訳			決算書頁		
目 の 決 算 額	693,849					国庫	県費	地方債		その他	一般財源
決算額 (予算額)	61,914 ( 61,914 )							40,500		21,414	99
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章		活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】		基本計画 第 1 節		農林水産業の振興		

1 事業概要

地下水採取に起因して生じた地盤沈下地域において、沈下により生じた農用地及び農業用施設の被害を復旧するとともに、洪水等による災害に対処する。また、地盤沈下防止のため農業用地下水を地表水に転換した用水路工事等の水源転換事業を行う。  
平成24年度からの嘉瀬川ダムの新規用水の配水のための用水路整備に特に重点を置いている。

2 事業実績

負担金 61,914千円 (全体事業費 1,031,900千円の6%)  
補助率 (国 55% 県 39% 町 6%)  
事業主体は県となっており、町は負担金を支払う。

工事内容

用水路工事  
水路整備工事  
用水管設置工事  
機場工事  
機場内整備工事  
ゲート改修  
水源転換ポンプ設置・水管橋工事等

3 事業効果

地盤沈下により機能低下した農業施設等を改修し機能回復を図るとともに、筑水事業と合わせて地下水依存から地表水への転換を図り、地盤沈下の進行防止に寄与できる。

年度	24	会計	一般会計			細事業名	筑後川下流土地改良事業推進事業費	所属	農村整備課	
款	6	項	1	目	7					
目 名 称	農地費					財源内訳			決算書頁	
目 の 決 算 額	693,849					国庫	県費	地方債		その他
決算額	10,286					2,255				8,031
(予算額)	( 10,288 )									98~100
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穰のまち)			基本構想 第 3 章		活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節		農林水産業の振興

1 事業概要

白石平野の農業にとって永年の課題となっていた、農業用水の不足を解消し、地下水依存から地表水への転換を図ることにより、地下水過剰採取による地盤沈下を解消し、併せて農業の機械化、近代化を図る。  
 事業実施において発生する、諸々の行政需要に対応するため、嘱託職員を配置する。  
 佐賀・福岡両県をまたがる数市町を事業地域とする広域土地改良事業であるため、国、県、他の市町及び関係諸団体との連携を図り、事業の円滑な推進を図る。  
 新たな水源開発のため水没する嘉瀬川ダム周辺地域の振興を図る。  
 事業完了により発生する土地改良事業(基幹施設管理事業)の開始のための、農家説明、同意取得等の法的手続き。  
 新たな配水体系確立のための、土地改良区への助成及び連携の強化。

2 事業実績

嘱託職員賃金 2,255 千円  
 報償費(筑水通水式・嘉瀬川ダム秋の収穫祭関係謝礼) 80 千円  
 需用費(筑水通水式関係) 78 千円  
 負担金 4,873 千円

【内訳】

- ・佐賀県筑後川下流土地改良事業推進協議会負担金 4,203,000円
- ・杵島地区推進協議会負担金 410,000円
- ・嘉瀬川ダム協力会負担金 120,000円
- ・嘉瀬川ダムに感謝!秋の収穫祭負担金 140,000円

補助金(配水体制確立補助金) 3,000 千円

- ・配水体制整備のための白石土地改良区特別需用費補助金

3 事業効果

事業開始から30数年を経過し、平成24年の水稻から嘉瀬川ダムからの農業用水が新規用水として通水されるようになった。本事業により新たな水利慣行の確立や、今後の維持管理事業の開始に向けた円滑な対応ができる。

単位:千円

年度	24	会計	一般会計			細事業名	基幹水利施設ストックマネジメント事業費	所属	農村整備課		
款	6	項	1	目	7						
目 名 称	農地費					財源内訳					
目の決算額	693,849					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁
決算額	43,994							17,500		26,494	98-99
(予算額)	(43,994)										
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章		活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節		農林水産業の振興	

1 事業概要

国営筑後川下流土地改良事業で造成された有明1号～3号までの各排水機場については、食料の安定供給の基盤としての役割のほか、洪水の防止などの公益的機能を担っている重要な施設である。  
これらの施設は、耐用年数の経過とともにその機能の低下等が懸念される。このため計画的な保全計画を策定し、コストの最小化や財政負担の平準化を図るストックマネジメントの手法を導入し、施設の状況に応じた計画的な整備、補修を行う。  
また、八平第1・八平第2・六府方排水機場についても、今後計画的に整備・補修を行うために、事業実施計画書を作成する。

2 事業実績

委託料 ・実施計画書作成業務委託(八平第1・八平第2・六府方排水機場分) 4,694 千円  
 契約名:基幹水利施設ストックマネジメント事業実施計画書作成業務委託  
 契約相手方:佐賀県土地改良事業団体連合会 契約金額:4,693,500円  
 基幹水利施設ストックマネジメント事業負担金 39,300 千円  
 事業費 228,000千円(負担割合 国 50% 県 30% 町20%)  
 但し、農業体質強化基盤整備促進事業分については町負担 15%

【内容】

町内の用排水の基幹的な役割を果たしている基幹水利施設を、計画的に整備し将来的に機能を維持するため、実施計画書に基づき順次整備するもの。  
事業主体は県となっており町は負担金を支払う。事業実施計画の作成は管理者である町が行う。

有明1号排水機場 : 平成元年度築造 排水能力 12.3t/s  
 ・ポンプ・エンジンの部品の交換・補修・整備、除塵機設備の減速機交換、補機類の交換  
 有明2号排水機場 : 昭和58年度築造 排水能力 10.0t/s  
 ・補機類、電気設備の交換  
 有明3号排水機場 : 昭和61年度築造 排水能力 10.0t/s  
 ・補機類の交換  
 事業実施計画書の作成(八平第1・八平第2・六府方排水機場)

3 事業効果

計画的な整備、補修を行うことによりライフサイクルコストの低減や施設の長寿命化が見込める。

年度	24	会計	一般会計									
款	6	項	1	目	7	細事業名	地域農業水利施設ストックマネジメント事業			所属	農村整備課	
目 名 称	農地費											
目の決算額	693,849					財源内訳				決算書頁		
決算額 (予算額)	48,151 ( 72,544 )					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	98~100	
							28,602	9,600	977	8,972		

白石町総合計画 (人と大地がうらおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】	基本計画 第 1 節	農林水産業の振興
-------------------------------	---------------	----------------------	---------------	----------

1 事業概要

地盤沈下対策事業、県営圃場整備事業等で造成された農業水利施設は、食料の安定供給の基盤としての役割のほか、洪水の防止などの公益的機能を担っている重要な施設である。  
 これらの施設は、耐用年数の経過とともに、今後急速にその機能の低下等が懸念される。既存の施設の有効活用を図りつつ、施設の機能を効率的に保全していくことが求められていることから、コストの最小化や財政負担の平準化を図るためストックマネジメントの手法を導入し施設の状況に応じたきめ細かい対策を講じている。  
 地沈水路の制水門などの基幹的な役割を果たしている施設については町が、揚水機・支線水路などについては土地改良区が実施主体となって計画的に整備し、その機能を維持していくこととしている。

2 事業実績

需用費(消耗品・燃料費) 19 千円  
 公用車リース料(2ヶ月分)5月でリース期間終了(再リース無し)公用車1台減 55 千円  
 工事請負費 42,181千円(この内、平成23年度からの繰越分 34,621千円)

【内訳】

・牛間田揚水機場整備工事	(株) 協和製作所	2,992,500 円
・制水門整備工事	(株) 津田化洗工業	3,202,500 円
・No239 制水門整備工事	(株) 津田化洗工業	1,365,000 円
・八平南部地区配水ポンプオーバーホール工事	(株) ミヨタ	2,210,250 円 (平成23年度からの繰越分)
・白石川制水門整備工事	(株) ミヨタ	19,376,700 円 (平成23年度からの繰越分)
・No.348制水門整備工事	(株) 津田化洗工業	1,879,500 円 (平成23年度からの繰越分)
・制水門整備工事	(株) 田中鉄工所	8,739,150 円 (平成23年度からの繰越分)
・制水門整備2号工事	(株) 津田化洗工業	2,415,000 円 (平成23年度からの繰越分)

負担金

1,021 千円

※ 地域農業水利施設ストックマネジメント事業事務費賦課金

佐賀県土地改良事業団体連合会 175,000円(補助対象事業費 7,000千円の2.5%)

佐賀県土地改良事業団体連合会 846,500円(補助対象事業費 33,860千円の2.5%) (平成23年度からの繰越分)

補助金

4,875 千円

※ 白石土地改良区が行う事業に対する補助  
 (補助対象事業費 32,500千円の15%)

3 事業効果

土地改良施設等の劣化状況に応じた、計画的な更新や予防的な保全対策を行うことができた。

翌年度繰越額

工事請負費	14,990 千円
負担金	310 千円
補助金	6,000 千円
合計	21,300 千円

単位:千円

年度	24	会計	一般会計			細事業名	農業体質強化基盤整備促進事業	所属	農村整備課		
款	6	項	1	目	7						
目 名 称	農地費										
目 の 決 算 額	693,849					財源内訳					
決算額 (予算額)	56,086 ( 165,000 )					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁 98-99
						28,050		22,900	29	5,107	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章		活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節		農林水産業の振興	

1 事業概要

戦略作物生産拡大関連基盤緊急整備事業を引き継ぐ事業として、平成23年度国の第4次補正予算にて創設された本事業により、平成23年度からの繰越事業と併せて本事業を行った。

米、麦、大豆及び地域特例作物であるタマネギ・レンコンの生産拡大を図るため、地域の幹線用排水路の整備・更新を行い、当該地区で実施されているブロックローテーションによる作付体系を、より確実なものとするのと、本年度より供用開始された筑水の水を円滑に末端地区へ配水するため、本年度事業実施を行ったが、水路落水後調査により、地沈25号水路の中腹から下流部の地形が高いことにより、通常地沈水路の法長が長いように地層の形状が縦層であり前回の補修の際、木柵工を施してあるが、腐食が進行しており、補修後も法先部分の崩落が予想されることにより、崩落防止と地元の強い要望により、泥土の改良を行った。

それと、平成24年度国の予備費対応により、平成25年度への繰越事業として、地域の幹線用排水路の整備補修及び老朽化等により交通上危険な状況にある農道橋の補修を行う。

2 事業実績

土地借上げ料 866,805 円 (平成23年度からの繰越分)  
 工事請負費 55,219,500 円 (この内、平成23年度からの繰越分 54,933,000 円)

【内訳】

・地沈25号水路整備工事	荒木建設 (株)	22,522,500 円
・地沈27-7号水路整備工事	松山建設	15,792,000 円
・地沈43号水路整備工事	(有) かわさき造園土木	16,905,000 円
施工内容	水路浚渫、泥土改良及び法面整形	

【繰越事業費】 (平成25年度へ繰越分)

設計委託料	5,500 千円
工事費	96,700 千円
合 計	102,200 千円

【設計委託】

・農道橋調査設計委託・水路整備工測量設計委託

【工事費】

・地沈59号(新明地区)の水路浚渫及び法面整形 L=1,521 m  
 ・牛間田地区の水路整備(L=45 m)、制水門、ボックスの取替え  
 ・大井地区の農道白石西 3-33 号線床版橋の補修工事

3 事業効果

水路・農道橋等を整備補修することにより、施設の機能を十分に発揮することができる。



年度	24	会計	一般会計			単位:千円						
款	6	項	1	目	7	細事業名	県営地域水田農業支援緊急整備事業				所属	農村整備課
目 名 称	農地費					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁	
目の決算額	693,849										財源内訳	
決算額	67,475											
(予算額)	( 67,485 )										99	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章		活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 1 節		農林水産業の振興	
<p><b>1 事業概要</b></p> <p>白石地区では、昭和52年頃から県営圃場整備事業が行われ、管内全ての地区が完了し、米を主体に玉葱・麦など土地利用型作物が振興されてきた。しかしながら、事業完了後20年以上を経過した農地では、暗渠排水のモミ殻の腐食、又不等沈下などによって、排水不良の圃場が見受けられるようになってきている。このことから緊急的に暗渠排水施設整備事業を実施し、水田の排水不良箇所を解消し農地の生産性の向上と担い手農家の経営規模拡大を支援した。</p>												
<p><b>2 事業実績</b></p> <p>地域水田農業支援緊急整備事業(緊急整備型)                      コルゲート管φ50mm 被覆材ボラ土 標準 3本/30a h=60cm</p> <p>県営地域水田農業支援緊急整備事業に対する市町村負担金</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">負担割合:国 50% 県 27.5% 町10% 受益者 12.5%</p> <p>※ 負担割合について、H24国予備費及びH24補正(緊急経済対策)については、国 50%から55%に増。町 10%から5%に減となった。</p> <p>白石地区 事業費 371,000千円</p> <p>暗渠排水整備 293ha(全体1,603ha) 負担金 67,475千円</p> <p>※ 事業費の内 320,000千円は次年度へ繰越 (この事業費の地元負担金 40,000千円は町が立替)</p> <p>県営地域水田農業支援緊急整備事業負担金 67,475,000円 (町 21,100,000円 : 地元 46,375,000円)</p>												
<p><b>3 事業効果</b></p> <p>暗渠排水施設整備によって、水田の排水不良が解消され担い手への農地の集積と連担性が高められた。</p>												

年度	24	会計	一般会計								単位:千円	
款	6	項	1	目	7	細事業名	県営地域水田農業再編緊急整備事業			所属	農村整備課	
目 名 称	農地費											
目の決算額	693,849					財源内訳					決算書頁	
決算額	40,809					国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
(予算額)	( 40,820 )						1,313		32,015	7,481	99	

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】	基本計画 第 1 節	農林水産業の振興
-------------------------------	---------------	----------------------	---------------	----------

1 事業概要

白石地区では、昭和52年頃から県営圃場整備事業が行われ、管内全ての地区が完了し、米を主体に玉葱・麦など土地利用型作物が振興されてきた。しかしながら、事業完了後20年以上を経過した農地では、暗渠排水のモミ殻の腐食、又不等沈下などによって、排水不良の圃場が見受けられるようになってきている。  
このことから緊急的に暗渠排水施設整備事業を実施し、水田の排水不良箇所を解消し農地の生産性の向上と担い手農家の経営規模拡大を支援した。

2 事業実績

地域水田農業再編緊急整備事業(緊急整備型)  
 コルゲート管φ50mm 被覆材ボラ土 標準 3本/30a h=60cm

県営地域水田農業再編緊急整備事業に対する市町村負担金

負担割合:国 50% 県 27.5% 町 10% 受益者 12.5%

※ 負担割合について、H24国予備費及びH24補正(緊急経済対策)については、国 50%から55%に増。町 10%から5%に減となった。

杵島南部地区 暗渠排水整備 225ha(全体1,160ha)  
 事業費 222,932千円  
 負担金 40,710千円

※ 事業費の内 189,000千円は次年度へ繰越

県営地域水田農業支援緊急整備事業負担金 40,710,000 円 (町 12,843,000円 : 地元 27,867,000円)  
 ※町負担分については、県費(佐賀県JR長崎本線沿線地域特別助成金)を充当

報償費 99千円 33人×3,000円 推進協議会委員報償費

3 事業効果

暗渠排水施設整備によって、水田の排水不良が解消され担い手への農地の集積と連担性が高められた。

年度	24	会計	一般会計			細事業名	農地・水保全管理支払交付金事業 共同活動支援事業				所属	農村整備課
款	6	項	1	目	7							
目 名 称	農地費					財源内訳				決算書頁		
目の決算額	693,849					国庫	県費	地方債	その他			一般財源
決算額	43,026										100	
(予算額)	( 43,026 )						1,093			41,933		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章		活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節		農林水産業の振興		

1 事業概要

近年、農地・農業用水等の資源の適切な保全管理が、高齢化や混住化等により困難になってきていること、ゆとりや安らぎといった国民の価値観の変化への対応が必要なこと、農業生産全体の在り方を環境保全を重視したものに転換していくことが求められています。このようなことから地域において農地・水・環境の良好な保全と質的向上を図るため、農地・農業用水等の保全向上に関する地域ぐるみでの効果の高い共同活動について支援を行った。

2 事業実績

地域ぐるみで共同の活動組織をつくり、事業計画を策定して、農地・水・環境の良好な保全と質的向上を図るため、農地・農道・農業用水等の保全向上に関する効果の高い共同活動の取り組みについて支援を行った。

農地・水保全管理支払交付金事業 共同活動支援事業負担金

負担割合：国50% 県25% 町25%

66組織

	支 援 単 価	対象農地面積	事業費	町負担金
田	3,300円/10a	4,988ha	167,678,040 円	41,919,510 円
畑	2,100円/10a	148ha		

農地・水保全管理支払交付金事業 推進事務費 1,106,014 円

旅 費	30,800 円
消耗品費	660,065 円
燃料費	127,149 円
光熱水費	288,000 円

農地・水保全管理支払交付金事業 推進交付金(県補助金) 1,093,000円

3 事業効果

農業者のみならず地域住民等の多様な主体が参画する活動組織が形成され、また、農地、農道、農業用水等の保全管理が充実することによって、地域の環境保全の向上が図られた。

受益農地面積 5,136ha

単位:千円

年度	24	会計	一般会計			細事業名	農地・水保全管理支払交付金事業 向上活動支援事業	所属	農村整備課	
款	6	項	1	目	7					
目 名 称	農地費					財源内訳			決算書頁	
目 の 決 算 額	693,849					国庫	県費	地方債		その他
決算額	15,124									15,124
(予算額)	( 15,125 )									100

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】	基本計画 第 1 節	農林水産業の振興
-------------------------------	---------------	----------------------	---------------	----------

1 事業概要

地域において農地・水・環境の良好な保全と質的向上を図るため、農地・農業用水等の保全向上に関する地域ぐるみでの効果の高い共同活動に対する支援と併せ老朽化が進む農地周りの水路・農道等の長寿命化のための補修・更新等を行う組織に対し支援を行った。

2 事業実績

地域ぐるみで共同の活動組織をつくり、事業計画を策定して、農地・水・環境の良好な保全と質的向上を図るため、農地・農道・農業用水等の保全向上に関する効果の高い共同活動の取り組みについて支援を行った。

※活動組織 22組織

農地・水保全管理支払交付金事業 向上活動支援事業負担金

負担割合：国50% 県25% 町25%

	支援単価	対象農地面積	事業費	町負担金
田	4,400円/10a	1,358ha	60,496,904 円	15,124,226 円
畑	2,000円/10a	36ha		

3 事業効果

農業者のみならず地域住民等の多様な主体が参画する活動組織が形成され、また、農地、農道、農業用水等の保全管理が充実することによって、地域の環境保全の向上が図られた。

受益農地面積 1,394ha

単位:千円

年度	24	会計	一般会計			細事業名	農道整備事業	所属	農村整備課	
款	6	項	1	目	8					
目 名 称	農道維持費					財源内訳			決算書頁	
目 の 決 算 額	11,257					国庫	県費	地方債		その他
決算額	11,257									11,257
(予算額)	( 12,287 )									101
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穰のまち)			基本構想 第 3 章		活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】		基本計画 第 1 節		農林水産業の振興	

1 事業概要

農道については、供用開始から年月が経過し、社会情勢、生活環境の変化などで農作業道路としての機能のみならず、主要な生活道路ともなっており、路面の整備及び安全施設等の管理を行うことにより農業の振興と農村の環境整備を図った。

2 事業実績

○工事請負費

農道舗装整備事業

① 平成24年度 農道有明第三114号線舗装工事	舗装工	L=78.0m	W=3.0m	630,000 円
② 平成24年度 新明～新開南縦堤防開削工事	舗装工、路盤工、旧堤防開削、暗渠継足			7,969,500 円
③ 平成24年度 農道新明17号線舗装修繕工事	舗装工	L=112.0m	W=1.5m	903,000 円
④ 平成24年度 農道白石東3-16号線舗装修繕工事	舗装工	L=36.5m	W=3.5m	399,000 円
				計 9,901,500 円

○需用費

消耗品費	2,280 円
修繕料	551,250 円
計	553,530 円

○使用料及び賃借料

農道補修機械 借上料	109,200 円
---------------	-----------

○負担金補助及び交付金

農道台帳管理事業 負担金	549,600 円
-----------------	-----------

○役務費

農道保険料	20,190 円
-------	----------

○原材料費

農道補修材料費	123,169 円
---------	-----------

3 事業効果

本事業により農道の維持管理費軽減と農産物荷傷み防止で玉葱等の作付拡大により地域振興及び農業経営の安定化が図れた。

単位:千円

年度	24	会計	一般			細事業名	重要森林公的管理支援事業	所属	農村整備課	
款	6	項	2	目	1					
目 名 称	林業振興費					財源内訳			決算書頁	
目の決算額	6,731					国庫	県費	地方債		その他
決算額	5,991						5,991			
(予算額)	( 6,000 )									104

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)      基本構想 第 3 章      活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】      基本計画 第 1 節      農林水産業の振興

1.事業概要

●森林環境税を財源とした事業を取組む中で、市町が自ら実施する荒廃森林の再生を行う「重要森林公的管理支援事業」が創設され、辺田地区内の環境林を、事業実施個所と位置づけ事業に取組んだ。

2.事業実績

●事業内容

事業箇所	事業内容	事業委託者名	事業量(ha)	事業費(円)	委託期間
辺田地区環境林整備(その1前期)業務委託	下刈り	稲佐の森を育てる会	0.37	63,000	H24.7.18 ~ H24. 8.31
辺田地区環境林整備(その2前期)業務委託	除伐	武雄杵島森林組合	0.47	100,800	H24.8.16 ~ H24.9.28
辺田地区環境林整備(後期)業務委託	侵入竹の整理伐・植栽	武雄杵島森林組合	0.81	4,819,500	H24.11.16 ~ H25.3.8
上黒木地区町有林整備(その1)業務委託	風倒木整理・植栽	武雄杵島森林組合	0.18	1,008,000	H25.1.22 ~ H25.3.8
合 計			1.83	5,991,300	

- 事業主体      白石町
- 補助要件      町と森林所有者との間で、竹林整備に関する協定書の締結を交わすこと
- 補助率      10/10

(決算内容)

- 重要森林公的管理支援事業費  
委託料      5,991,300 円

3.事業効果

人家上部に位置する荒廃森林を整備することにより、水源涵養・土砂災害防止機能等の山林が持つ公益的機能が高度に発揮され、住民の生命・財産を守ると共に、生活環境基盤の向上と景観の保全が図られた。

単位:千円

年度	24	会計	一般会計			細事業名	漁港整備事業費(新有明漁港)					所属	農村整備課
款	6	項	3	目	3								
目	漁港整備事業費					財源内訳					決算書頁		
目の決算額	805,076					国庫	県費	地方債	その他	一般財源			
決算額	805,076					399,691	199,506	188,500		17,379	107~108		
(予算額)	(927,508)												
白石町総合計画 (人と大地がらうおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第3章		活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第1節		農林水産業の振興			

1. 事業概要

資源管理型漁業・つくり育てる漁業等への支援、安全で快適な漁業地域の形成を図るため、漁業施設の集約化や経営の協業化等の漁業情勢に対応でき、安全性・機能性・快適性等の就労環境や観光漁業・海洋性レクリエーションなど総合的に配慮した「白石地域水産業の拠点」としての漁港整備を行った。

2. 事業実績 (補助対象分)

区分	全体計画	24年度まで (精算累計額)	24年度内訳
総事業費	5,781,528千円	5,382,828千円	事業費 1,113,483,550 円 (精算額) 799,381,350 円 ①23年度繰越額 198,155,550 円 ②24年度事業費 915,328,000 円 ③24年度精算額 601,225,800 円 ④翌年度繰越額 314,102,200 円
事業年度	平成14年度～26年度(予定)		
外郭施設(防波堤)	874m	822m	・ジャケット製作(有明側)
係留施設(物揚場)	460m	460m	・" " 運搬(白石側)
係留施設(物揚棧橋)	80m	80m	・輸送用道路整備(舗装工・排水工・制水門工等)
係留施設(浮棧橋)	460m	460m	(白石側、有明側共)
係留施設(係船杭)	92本	92本	・棧橋改築工事(防波堤、道路、駐車場一体型)
水域施設(泊地浚渫)	63,000㎡	27,000㎡	(白石側、有明側共)
輸送施設(道路)	3,039m	2,472m	
輸送施設(駐車場)	150m	75m	
作業施設用地等	82,367㎡	55,360㎡	

□平成24年度事業

- 【第3期棧橋整備分】
- ◆棧橋施設5号工事(ジャケット制作 防波堤・道路・駐車場一体型)(継続事業)
  - ◆棧橋施設6号工事(棧橋工 防波堤・道路・駐車場一体型)(継続事業)
  - ◆棧橋施設7号工事(ジャケット制作 防波堤・道路・駐車場一体型)(継続事業)
  - ◆棧橋施設8号工事(棧橋工 防波堤・道路・駐車場一体型)(継続事業)
  - ◆棧橋照明設置工事(新明側)
- 【随働分】
- ◆道路整備(5号輸送用道路)3連函渠 L=76.0m
  - ◆道路整備(6号輸送用道路)2連函渠 L=100.5m
  - ◆輸送用道路安全施設設置工事(セイフティライト等)
  - ◆6号輸送用道路(新拓側)ノリ用パイプ復旧工事(ノリ用パイプ撤去・復旧)
  - ◆5号輸送用道路(新明側)ノリ用パイプ復旧工事(ノリ用パイプ撤去・復旧)
  - ◆輸送用道路安全施設設置工事(ポールコーン)

■歳入

費目	予算現額(円)	収入済額(円)	翌年度繰越額(円)
農林水産業費国庫補助金	457,664,000	300,612,900	157,051,100
" (繰越分)	99,077,450	99,077,775	
農林水産業費県補助金	228,832,000	150,306,450	78,525,550
" (繰越分)	49,200,000	49,200,000	

●費目別内訳

費目	予算現額(円)	決算額(円)	翌年度繰越額(円)	摘要
旅費(明許繰越含む)	316,000	265,670		ジャケット用鋼板工場検査及び鋼管材料検査・ジャケット及び鋼管杭出来高検査
需用費(明許繰越含む)	1,893,000	1,705,824		消耗品費・燃料費・印刷製本費
役務費	11,000	10,500		作業船在港情報システム平成24年度情報提供料
使用料	1,045,000	1,031,359		事務機器リース料(プリンター・積算システム)・公用車リース料
工事請負費(明許繰越含む)	1,123,568,000	802,062,350	321,415,600	下記内訳のとおりであるが、これ以外に未発注分の7,257,800円も繰り越す。
補償、補填及び賠償金	6,000	310		電柱転移補償
合計	1,126,839,000	805,076,013		

●工事請負内訳

工事名	予算現額(円)	決算額(円)	翌年度繰越額(円)	請負業者	摘要
(新有明工第11号)新有明漁港地域水産物供給基盤整備事業棧橋施設5号工事		82,204,000		日鉄トビーブリッジ㈱	ジャケット製作工(防波堤・道路・駐車場一体型)
(新有明工第12号)新有明漁港地域水産物供給基盤整備事業棧橋施設6号工事		335,430,000		富士・野中JV	棧橋改築工(防波堤・道路・駐車場一体型)新拓側
(新有明工第18号)新有明漁港水産生産基盤整備事業5号輸送用道路(1工区その3)改築工事		32,917,500		㈱ 岩本建設	舗装工・排水工、ブロック積工外(3連ゲート)(新明地内)
(新有明工第19号)新有明漁港水産生産基盤整備事業棧橋施設7号工事		144,513,700	17,364,800	日鉄トビーブリッジ㈱	ジャケット製作工(防波堤・道路・駐車場一体型)
(新有明工第20号)新有明漁港水産生産基盤整備事業棧橋施設8号工事		178,017,000	296,793,000	富士・荒木JV	棧橋改築工(防波堤・道路・駐車場一体型)新明側
新有明漁港6号輸送用道路ノリ用パイプ復旧工事		483,000		長谷川鉄工	海苔用パイプ撤去・復旧(新拓側)
新有明漁港5号輸送用道路ノリ用パイプ復旧工事		1,008,000		㈱ 旭鉄工所	海苔用パイプ撤去・復旧(新明側)
(新有明工第17号)新有明漁港地域水産物供給基盤整備事業6号輸送用道路改築(その3)工事		26,306,850		㈱ 日出島建設	舗装工・排水工、ブロック積工外(2連ゲート)(新拓地内)
その他の工事(単独工事)		1,182,300			
合計	1,123,568,000	802,062,350	314,157,800		

3. 事業効果

安全で快適な漁業地域の形成及び漁業経営の向上が図られた。

単位:千円

年度	24	会計	一般会計								
款	8	項	2	目	4	細事業名	橋梁長寿命化計画策定業務			所属	土木管理課
目 名 称	橋りょう維持費										
目 の 決 算 額	2,667					財源内訳					
決算額	2,667 (予算額) ( 2,829 )					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁 115
						1,575				1,092	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 1 章		ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 3 節		体系的な交通網の整備・充実	

1 事業概要

白石町が管理する橋りょうを良好な管理のもとに永く利用していくための点検・調査を行い、橋りょうの現状を正確に把握し、そのデータを基に予防的な修繕計画をたて、橋梁の長寿命化及び修繕等に係る費用の縮減を図る。

・町道橋梁対象	49 橋
2m ≤ 橋長 < 15m	

2 事業実績

- ①橋りょうの長寿命化計画について基本方針の検討
- ②健全度の把握
- ③修繕内容の検討、修繕時期、架け替え時期の検討
- ④長寿命化修繕計画による効果の検討
- ⑤長寿命化修繕計画の策定

8 報償費	謝礼	42,000 円	橋梁長寿命化策定委員 (佐賀大学教授)
13 委託料		2,625,000 円	橋梁長寿命化計画策定業務委託料 委託先:株式会社 トップコンサルタント

3 事業効果

町が管理する橋梁の点検を実施したことによりその現状を把握することができ、長寿命化を目指す予防的な修繕計画が検討できた。



年度	24	会計	一般会計			単位:千円														
款	8	項	6	目	1	細事業名	住宅リフォーム緊急助成事業			所属	土木管理課									
目 名 称	住宅総務費					財源内訳														
目 の 決 算 額	69,344					決算書頁														
決算額	69,231 (予算額) ( 69,838 )					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	117・118									
(予算額)							69,230					1								
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		基本構想 第 1 章		ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 1 節		生活基盤の充実											
<p><b>1 事業概要</b> 佐賀県において、地域経済の活性化及び住宅のエコハウス化やUD化などを促進することを目的として、住宅リフォームに対する新たな助成制度が創設された。これに伴い、住宅の修繕・模様替え等に対して助成を行うことで、リフォームの促進とその環境整備をし、地域経済の活性化を図る。</p> <p><b>2 事業実績</b></p> <table border="0"> <tr> <td>11 需用費</td> <td>事務用消耗品</td> <td>1,230 千円</td> </tr> <tr> <td>13 委託料</td> <td>工事確認委託料</td> <td>981 千円</td> </tr> <tr> <td>19 負担金、補助及び交付金</td> <td>住宅リフォーム緊急助成事業助成金</td> <td>67,020 千円</td> </tr> </table> <p>助成対象件数 :327件(内町内業者施工件数210件)</p> <p><b>3 事業効果</b></p> <p>エコハウス、UD化などのリフォームを促進することにより、住宅性能及び住環境の向上が図られ、また、地域の工務店などの仕事を増やし、地域経済の活性・循環が図られた。</p>												11 需用費	事務用消耗品	1,230 千円	13 委託料	工事確認委託料	981 千円	19 負担金、補助及び交付金	住宅リフォーム緊急助成事業助成金	67,020 千円
11 需用費	事務用消耗品	1,230 千円																		
13 委託料	工事確認委託料	981 千円																		
19 負担金、補助及び交付金	住宅リフォーム緊急助成事業助成金	67,020 千円																		

単位:千円

年度	24	会計	一般会計			細事業名	町営住宅建設事業	所属	土木管理課		
款	8	項	6	目	3						
目 名 称	住宅建設費					財源内訳					
目 の 決 算 額	363,584					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁
決算額 (予算額)	363,584 ( 365,767 )					151,368			200,000	12,216	119

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】	基本計画 第 1 節	生活基盤の充実
-------------------------------	---------------	------------------------	---------------	---------

1 事業概要

老朽化により居住性や安全性が低下している町営住宅の建て替えを行い、町営住宅の適正な管理を推進する。  
なお、建替対象住宅については、狭小で老朽化が著しい「住ノ江栄町・寿町住宅」を非現地建替として整備する。

2 事業実績

区 分		(単位:千円) 実績額
需用費	消耗品費、燃料費、印刷製本費等	45
役務費	水道検査手数料	275
委託料	実施設計及び監理業務	5,655
工事請負費	住宅建設工事及び屋外工事	346,757
負担金補助及び交付金	下水道工事及びケーブルワン加入金	10,852
計		363,584

[工事概要]

町営住宅新築工事 木造平屋2LDK 8棟16戸  
木造2階3LDK 4棟8戸  
屋外工事 駐車場、児童遊園、排水溝  
上下水道工事、植栽工事等

(事業内容)

○委託関係

・下区中央住宅新築工事監理業務 3,675,000 円  
・下区中央住宅新築工事設計意図伝達業務 522,900 円  
・下区中央住宅上水道配水管新設設計業務 976,500 円  
・栄町住宅及び寿町住宅解体設計業務 480,900 円

○負担金補助及び交付金

・下水道管布設工事負担金 10,599,750 円  
・ケーブルワン加入金 252,000 円

○工事関係

・下区中央住宅新築工事 291,993,450 円  
・下区中央住宅外構工事(2件) 34,702,500 円  
・下区中央住宅上水道配水管新設工事 6,057,450 円  
・下区中央住宅外構舗装工事 13,561,800 円  
・下区中央住宅ケーブルテレビ施設整備工事 442,050 円

3 事業効果

老朽化により居住性や安全性が低下している町営住宅を建て替える。

単位:千円

年度	24	会計	一般会計			細事業名	分譲住宅地及び周辺道路整備事業	所属	建設課		
款	2	項	1	目	7						
目 名 称	企画総務費					財源内訳					
目の決算額	197,661					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁
決算額 (予算額)	4,742 5,000									4,742	52

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】	基本計画 第 1 節	生活基盤の充実
-------------------------------	---------------	------------------------	---------------	---------

1 事業概要

旧白石支所跡地の分譲地内に設置する道路は新設であり、道路敷きに下水道や水道といったライフラインを先行して埋設し、平成24年度において舗装工事を行った。

2 事業実績

工事内容:道路舗装工事

路 線 名	延 長	舗装面積	舗装厚
西秀津線(1号道路)	L=117.0m	A=644.0㎡	5.0cm
2号道路	L=68.3m	A=361.0㎡	
4号道路	L=122.2m	A=638.0㎡	
合 計	L=307.5m	A=1,643.0㎡	

15 工事請負費

工 事 名	町道西秀津線及び分譲住宅地内道路舗装工事
工 期	平成24年7月24日～平成24年10月19日
本 工 事 費	4,742千円

3 事業効果

分譲地内道路や西秀津線は、前年度に下水管・水道管を埋設したため不等沈下が予測される。梅雨や通行車両による自然圧密の期間を設けることで、仕上がり精度の確保と補修費の軽減ができる。

単位:千円

年度	24	会計	一般会計			細事業名	社会資本整備総合交付金事業				所属	建設課
款	8	項	2	目	2							
目 名 称	道路新設改良費											
目の決算額	216,711					財源内訳					決算書頁	
決算額	( 予算額 )					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	113・114	
( 予算額 )						216,711	291,838	126,150				
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 1 章			ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 3 節		体系的な交通網の整備・充実	

1 事業概要

社会資本整備総合交付金事業にて取り組む4路線は、町の中心部あるいは、小学、中学及び高校のスクールゾーンで主要な道路となっている。いずれの路線も道路が狭小で歩道は無く路肩を通っている状況。新しく歩道を設置することにより、児童・生徒をはじめとする道路利用者の安全を確保し人に優しい交通環境の整備を図った。

2 事業実績

単位:千円

区 分	金 額
11 消耗品費	770
13 委託料	1,117
14 使用料及び賃借料	3

単位:千円

区 分	金 額
15 工事請負費	128,314
17 公有財産購入費	22,979
22 補償補填及び賠償金	63,528
計	216,711

単位:千円

路線名	本工事費	測量試験費	土地購入費	移転補償費	計	主な事業内容
町道秀村線(1工区)道路改良工事	40,995		1,403	3,985	46,897	BOXカルバート設置L=62.4m、函渠型側溝布設 L=59.3m
町道秀村線(2工区)道路改良工事	0	514	11,459	31,812	43,271	土質調査2箇所、土地購入、移転補償費
町道秀村線附帯工事	1,242	0	0	0	1,242	水路仮設材設置撤去工事
町道北川廿治線(1工区)道路改良工事	17,511				42,098	函渠拡幅工 1式、函渠型側溝布設 L=166.9m
町道北川廿治線(2工区)道路改良工事	25,184	189	7,833	16,565	25,184	函渠拡幅工 1箇所、L型擁壁 L=145.8m
町道中郷揚田線道路改良工事	11,347	414	461	2,593	14,815	舗装工(車道部)A=464㎡、歩道部A=144㎡
町道中郷揚田線照明設置工事	735	0	0	0	735	照明灯 2基設置
H23年度(繰越)町道六府方南方線道路改良工事	22,007	0	796	0	22,803	舗装工A=948㎡、側溝工L=201.5m
H23年度(繰越)町道六府方南方線信号機移設工事	1,313	0	0	0	1,313	点滅式信号機移設 1基
H24年度(繰越)町道六府方南方線(1工区)道路改良工事	7,980	0	1,027	8,573	17,580	舗装工A=345㎡、側溝工L=46m、函渠拡幅工1箇所
計	128,314	1,117	22,979	63,528	215,938	
H24年度(繰越)町道秀村線(2工区)道路改良工事	31,400	0	0	400	31,800	BOXカルバート工L=34m、張出歩道工L=26m他
H24年度(繰越)町道中郷揚田線(今泉工区)	0	0	2,313	21,639	23,952	歩道設置工事に係る補償補填及び土地購入費
H24年度(繰越)町道六府方南方線(1工区)道路改良工事	14,020	0	0	0	14,020	
合 計					69,772	69,772千円を平成25年へ繰越

3 事業効果

役場の周辺道路を拡幅改良する事により、住民の安全を確保する事が出来るし、新町中心部のアクセス道路が整備され、通行車両や歩行者の安全が確保される。また、主要地方道路武雄福富線や国道444号線へ接続する町道の歩道拡幅整備を行う事により、児童生徒の安全の確保及び町民の利便性が向上する。

単位:千円

年度	24	会計	一般会計			細事業名	道路新設改良費	所属	建設課	
款	8	項	2	目	2					
目 名 称	道路新設改良費									
目 の 決 算 額	464,712					財源内訳				
決算額 (予算額)	181,196 ( 199,192 )					国庫	県費	地方債	その他	一般財源
								40,500		140,696
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		基本構想 第 1 章		ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】		基本計画 第 3 節		体系的な交通網の整備・充実		

1 事業概要

市町村合併により旧町間や公共施設を結ぶ町道の総合的な道路ネットワークの整備が急務である。これらの町道の改良工事を新町建設計画や合併支援道路整備計画との整合性を取りながら、年次施工することにより、安心・安全な道路網の整備とゆとりある生活基盤の確保を図った。

2 事業実績

消耗品費	36 千円	工事請負費	159,083 千円
役務費	2 千円	原材料費	70 千円
委託料	6,594 千円	公有財産購入費	8,748 千円
使用料及び賃借料	581 千円	補償補填及び賠償金	6,082 千円
		計	181,196 千円

\* 工事請負費の予算額の内、13,500千円を25年度に繰越。

(単位:千円)

路線名	本工事費	測量試験費	土地購入費	移転補償費	計	主な事業内容
①町道白石1号線(福吉2号線)	18,270	0	997	1,106	20,373	道路改良工事L=198.3m W=7.0m
②町道白石2号線(深通福吉線)	16,599	0	44	1,286	17,929	道路改良工事L=165.5m W=5.0~7.0m
③町道白石3号線(太原外堀線)	14,439	0	520	1,112	16,071	道路改良工事L=180m W=7.0m
④町道白石7号線(太原本線)	27,001	0	2,855	168	30,024	道路改良工事L=452m W=9.15m(歩道幅員3.0m)
⑤町道白石13号線(新村線)	18,424	0	0	390	18,814	道路改良工事L=203.3m W=6.5m
⑥町道白石15号線(古賀辺田線)	16,499	4,547	419	1,577	23,042	測量L=530m 函渠設計2カ所 道路改良工事L=168.2m W=6.5m
⑦町道神辺線	30,245	0	315	404	30,964	道路改良工事L=346m W=7.0m、道路舗装工事L=192.2m W=7.0m
⑧町道下区中央線	1,148	0	1,166	0	2,314	歩道設置工事L=48.7m W=1.7~2.0m
⑨町道公園北線	16,458	1,995	2,345	39	20,837	測量L=300m 函渠設計1カ所 道路改良工事L=471.6m W=6.0m
⑩町道福吉南線他	0	52	87	0	139	用地調査及び土地購入
計	159,083	6,594	8,748	6,082	180,507	

3 事業効果

上記事業を行うことにより、地域住民の交通安全の確保及び利便性向上が図られる。

年度	24	会計	一般会計							単位:千円													
款	8	項	2	目	3	細事業名	交通安全施設費			所属	建設課												
目名称	交通安全施設費																						
目の決算額	6,292					財源内訳				決算書頁													
決算額 (予算額)	6,292 ( 6,300 )					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	114												
										6,292													
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 1 章		ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】		基本計画 第 3 節		体系的な交通網の整備・充実														
<p>1 事業概要</p> <p>見通しの悪い交差点やカーブのある公道などに対し、車両交通の安全確認や安全確保のため、カーブミラー、ガードレール等の交通安全施設の設置を行った。</p> <p>2 事業実績</p> <p style="text-align: right;">(単位:千円)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>主な工事名</th> <th>工事費</th> <th>主な工事内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交通安全施設整備1号工事</td> <td>3,011</td> <td>区画線(3,664m)、道路反射鏡(5基)、視線誘導標(3基)、ガードレール(7.5m)</td> </tr> <tr> <td>交通安全施設整備2号工事</td> <td>3,281</td> <td>区画線(1,763.6m)、道路反射鏡(6基)、視線誘導標(5基)、ガードレール(22.7m)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>6,292</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3 事業効果</p> <p>町民のニーズに応えるべく、交通事故の抑止や交通の円滑化の向上が図られる。</p>												主な工事名	工事費	主な工事内容	交通安全施設整備1号工事	3,011	区画線(3,664m)、道路反射鏡(5基)、視線誘導標(3基)、ガードレール(7.5m)	交通安全施設整備2号工事	3,281	区画線(1,763.6m)、道路反射鏡(6基)、視線誘導標(5基)、ガードレール(22.7m)	合計	6,292	
主な工事名	工事費	主な工事内容																					
交通安全施設整備1号工事	3,011	区画線(3,664m)、道路反射鏡(5基)、視線誘導標(3基)、ガードレール(7.5m)																					
交通安全施設整備2号工事	3,281	区画線(1,763.6m)、道路反射鏡(6基)、視線誘導標(5基)、ガードレール(22.7m)																					
合計	6,292																						

単位:千円

年度	24	会計	一般会計			細事業名	学校教育支援員配置事業	所属	学校教育課	
款	10	項	2,3	目	1					
目 名 称	学校管理費					財源内訳			決算書頁	
目 の 決 算 額	326,265					国庫	県費	地方債		その他
決算額	7,914									7,914
(予算額)	( 7,914 )									129-133

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穰のまち)	基本構想 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】	基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成
-------------------------------	---------------	-------------------------	---------------	---------------

1 事業概要

今の学校現場では、不登校(別室登校を含む)児童生徒への対応、障がい等の特別な支援が必要な児童生徒への対応、補充学習による学力の向上への対応など、児童生徒の個に応じた支援の充実が求められている。しかしながら限られた人員(教職員)での対応では十分な支援を行うことができていない状況にある。そこで、学校現場で児童生徒への個別対応に適した教育支援員を配置し、状況把握と早期に適切な対応を行うことにより、教職員の負担軽減と児童生徒へのきめ細やかな支援が図られる。

- ・別室登校及び不登校児童生徒への対応補助
- ・障がい等により個別対応が必要な登校児童生徒への対応
- ・授業や補充学習の指導補助

2 事業実績

賃金	小学校	4,764,000	円
	中学校	3,150,000	円

3 事業効果

各学校現場において教育支援員を配置して、児童生徒のそれぞれの状況に応じた適切な支援を行うことにより、児童生徒へのきめ細やかな指導・支援が図られた。

単位:千円

年度	24	会計	一般会計									
款	10	項	1	目	3	細事業名	新学習指導移行措置事業			所属	学校教育課	
目 名 称	教育振興費											
目 の 決 算 額	58,958					財源内訳						
決 算 額	2,651					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁	
(予算額)						( 2,950 )						
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 4 章			個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			基本計画 第 1 節		個性豊かで優れた人材の育成	
<p><b>1 事業概要</b>            新学習指導要領が、小学校は平成23年度から、中学校は平成24年度から完全実施され、円滑に新しい教科書に対応するための条件整備を行った。            平成24年度は、中学校へ国語と英語のデジタル教科書を配置し、また、国庫補助事業により小中学校へ理科、算数、数学の教材備品の整備を行った。</p>												
<p><b>2 事業実績</b></p> <p>需用費 消耗品費(デジタル教科書) 1,059,316 円</p> <p>備品購入費 理科備品(11校分) 1,591,706 円</p> <p>【財源 理科教育設備整備費等補助金 791,000円】</p>												
<p><b>3 事業効果</b>            学習指導要領の改訂に伴い、備品等の条件整備を実施することにより、円滑な移行が図られる。            デジタル教科書を使用してのICT利活用により、児童生徒のわかりやすい授業、効率的な授業の展開が図られた。</p>												



年度	24	会計	一般会計			単位:千円						
款	10	項	1	目	3	細事業名	ICT支援事業(佐賀県緊急雇用創出基金事業)			所属	学校教育課	
目 名称	教育振興費					財源内訳						
目の決算額	58,958					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁	
決算額 (予算額)	17,811 ( 17,812 )						17,811			0	126	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 4 章		個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			基本計画 第 1 節		個性豊かで優れた人材の育成		
<p><b>1 事業概要</b></p> <p>佐賀県緊急雇用創出基金事業を活用し、新規雇用したICT支援員を学校現場へ派遣し、ICT活用場面において支援・助言を行い、ICTを活用した授業展開と既設ICT環境の有効利用を通して、教員のICT指導力の向上と校務の情報化促進に努めました。</p>												
<p><b>2 事業実績</b></p> <p>白石町内小中学校11校のICT活用を支援するため、ICT支援員を学校現場へ派遣し、校内LANやPC教室、教員用端末等の学校が保有する情報機器等に関する技術対応や、学校が有する個人情報等の校務データのセキュリティー管理、運用に関する助言・支援を行った。</p> <p>主な業務内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機器やソフトウェアの設定や操作、また効果的な活用のアドバイス</li> <li>・校内LAN運用や情報機器等のシステム障害発生に関する技術対応</li> <li>・必要なデジタル教材やソフトウェアの紹介、デジタル教材作成の支援</li> <li>・個人情報等の校務情報のセキュリティー管理・運用の支援</li> <li>・学校ホームページ運用に関する支援</li> </ul> <p>委託料 17,811,150円 (委託期間平成24年4月～平成25年3月 ICT支援員数 5人)</p> <p>【財源内訳 佐賀県緊急雇用創出基金事業費補助金(県支出金) 17,811,150円】</p>												
<p><b>3 事業効果</b></p> <p>教員のICT活用場面においてICT支援による支援・助言により、教員のICT指導力の向上が図られ、ICTを活用したよりよい授業展開がなされ、充実した学習指導時間につながった。また、既設ICT環境の有効活用と校務の情報化促進が図られた。</p>												

単位:千円

年度	24	会計	一般会計																																
款	10	項	1	目	3	細事業名	適応指導教室事業			所属	学校教育課																								
目 名 称	教育振興費																																		
目の決算額	58,958					財源内訳																													
決算額	5,245					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁																								
(予算額)						( 5,291 )										4,556	689																		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 4 章		個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			基本計画 第 1 節		個性豊かで優れた人材の育成																									
<p>1 事業概要</p> <p>心理的又は情緒的理由により登校できない状態にある児童生徒に対して、個別や小集団での相談、指導を行い、自立を促しながら集団生活に適応する力を育み、学校への早期復帰や社会性を育成する援助を行うため、交流館2階に適応指導教室コンフォートスペース「あい」を開設し、指導員2名を配置し指導を行いました。</p> <p>場所 白石町交流館 2階 指導員 専任指導者2名</p> <p>2 事業実績</p> <table border="0"> <tr> <td>共済費(社会保険料)</td> <td>567,453</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>賃金</td> <td>3,988,302</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>需用費(消耗品費)</td> <td>153,275</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>役務費(電話料)</td> <td>45,416</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>72,618</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>(ケーブルインターネット)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>416,200</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>積立金</td> <td>1,138</td> <td>円</td> </tr> </table> <p>【人件費財源内訳:適応指導教室事業基金繰入金(4,555,755円)】</p> <p>3 事業効果</p> <p>心理的又は情緒的理由により登校できない状態にある児童生徒に対して、個別や小集団での相談、指導を行い、集団生活に適応する力を育む。</p>												共済費(社会保険料)	567,453	円	賃金	3,988,302	円	需用費(消耗品費)	153,275	円	役務費(電話料)	45,416	円	使用料及び賃借料	72,618	円	(ケーブルインターネット)			備品購入費	416,200	円	積立金	1,138	円
共済費(社会保険料)	567,453	円																																	
賃金	3,988,302	円																																	
需用費(消耗品費)	153,275	円																																	
役務費(電話料)	45,416	円																																	
使用料及び賃借料	72,618	円																																	
(ケーブルインターネット)																																			
備品購入費	416,200	円																																	
積立金	1,138	円																																	

年度	24	会計	一般会計			単位:千円						
款	10	項	2	目	1	細事業名	学校施設改修費(小学校)			所属	学校教育課	
目 名 称							学校管理費					
目の決算額						240,280					決算書頁	
決算額 (予算額)						財源内訳					129・130	
						国庫	県費	地方債	その他	一般財源		
86,622									45,000	41,622		
( 91,688 )												
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 4 章		個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			基本計画 第 1 節		個性豊かで優れた人材の育成		
<p>1 事業概要</p> <p>町内小学校の施設改修箇所を取りまとめ、児童の安全確保と適切な施設の維持管理のため、改修工事等を実施した。</p>												
<p>2 事業実績</p> <p>需用費(修繕料) 5,728,234 円</p> <p>委託料(設計施工監理委託) 4,312,350 円</p> <p>工事請負費</p> <p>白石小学校外壁等改修工事 32,572,050 円</p> <p>福富小学校外壁等改修工事 29,667,750 円</p> <p>福富小学校管理棟東側屋上防水工事 6,600,000 円</p> <p>その他工事 7,741,650 円</p> <p>小計 76,581,450 円</p> <p>【財源 公共施設整備基金繰入金 45,000,000円】</p>												
<p>3 事業効果</p> <p>学校施設の計画的な改修により、児童生徒の安心・安全な教育環境の充実と安全性の確保を図ることができる。</p>												

年度	24	会計	一般会計								単位:千円
款	10	項	3	目	1	細事業名	学校施設改修費(中学校)			所属	学校教育課
目 名 称	学校管理費					財源内訳					
目 の 決 算 額	85,985					決算書頁					
決 算 額	12,381					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
(予算額)	( 13,921 )								5,000	7,381	133-134
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穰のまち)			基本構想 第 章			個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			基本計画 第 節		個性豊かで優れた人材の育成
<p>1 事業概要</p> <p>町内中学校の施設改修箇所を取りまとめ、児童の安全確保と適切な施設の維持管理のため、改修工事等を実施した。</p> <p>2 事業実績</p> <p>需用費(修繕料) 2,091,411 円</p> <p>委託料(設計施工監理委託) 1,102,500 円</p> <p>工事請負費</p> <p>福富中学校グラウンド防球フェンス設置 9,187,500 円</p> <p>【財源 公共施設整備基金繰入金 5,000,000円】</p> <p>3 事業効果</p> <p>学校施設の計画的な改修により、児童生徒の安心・安全な教育環境の充実と安全性の確保を図ることができる。</p>											

年度	24	会計	一般会計			単位:千円																																							
款	10	項	5	目	4	細事業名	小学生リーダー育成事業					所属	生涯学習課																																
目 名 称	青少年育成費						財源内訳					決算書頁																																	
目の決算額	6,403					国庫	県費	地方債	その他	一般財源																																			
決算額	5,336								2,106	3,230	140																																		
(予算額)	( 6,693 )																																												
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		基本構想 第 4 章		個性豊かな人と文化を育むまち 【教育文化の向上】			基本計画 第 1 節		個性豊かで優れた人材の育成																																				
<p>1 事業概要 大自然の中で、たくましさと自主性を学び、友情を育み、自然体験をとおして子ども達の資質を高め白石町の青少年リーダー育成をめざす。</p> <p>①沖縄県自然体験 平成24年7月21日～7月24日(3泊4日) 「国立沖縄青少年交流の家」 参加者 29人</p> <p>②北海道自然体験 平成24年12月23日～12月26日(3泊4日) 「国立日高青少年自然の家」 参加者 35人</p> <p>③元気ッズ卒業生ボランティア 平成24年8月17日 夏祭り会場(マイランド)後の清掃ボランティア 参加者 50人</p> <p>2 事業実績 13 委託料 5,335,961 円 実行委員会へ委託</p> <table border="0"> <tr> <td>①沖縄県自然体験</td> <td>2,369,268 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>旅費、講師・引率謝金</td> <td>2,307,770 円</td> <td>※その他財源は、参加負担金 2,105,500円</td> </tr> <tr> <td>事務用品・食材費</td> <td>49,188 円</td> <td>沖縄 27,000×29人=783,000円</td> </tr> <tr> <td>送料及び振込手数料他</td> <td>12,310 円</td> <td>北海道 37,000×35人=1,295,000円</td> </tr> <tr> <td>②北海道自然体験</td> <td>2,992,983 円</td> <td>ボランティア 500円×55人(参加生徒50人+スタッフ5人)=27,500円</td> </tr> <tr> <td>旅費、講師・引率謝金</td> <td>2,864,751 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事務用品等</td> <td>43,942 円</td> <td>※支出 5,406,643円-利息 182円-職員食事代 70,500円= 5,335,961円</td> </tr> <tr> <td>保険料、送料及び振込手数料他</td> <td>84,290 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③元気ッズ卒業生ボランティア</td> <td>44,392 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保険料・郵送料等</td> <td>44,392 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>5,406,643 円</td> <td></td> </tr> </table> <p>3 事業効果 ○自然体験(子どもたちと自然)と集団生活(8小学校の子ども同士)により、子どもたちの自己の成長とともに、校区を越えた仲間づくりとリーダー育成ができた。</p>													①沖縄県自然体験	2,369,268 円		旅費、講師・引率謝金	2,307,770 円	※その他財源は、参加負担金 2,105,500円	事務用品・食材費	49,188 円	沖縄 27,000×29人=783,000円	送料及び振込手数料他	12,310 円	北海道 37,000×35人=1,295,000円	②北海道自然体験	2,992,983 円	ボランティア 500円×55人(参加生徒50人+スタッフ5人)=27,500円	旅費、講師・引率謝金	2,864,751 円		事務用品等	43,942 円	※支出 5,406,643円-利息 182円-職員食事代 70,500円= 5,335,961円	保険料、送料及び振込手数料他	84,290 円		③元気ッズ卒業生ボランティア	44,392 円		保険料・郵送料等	44,392 円		合 計	5,406,643 円	
①沖縄県自然体験	2,369,268 円																																												
旅費、講師・引率謝金	2,307,770 円	※その他財源は、参加負担金 2,105,500円																																											
事務用品・食材費	49,188 円	沖縄 27,000×29人=783,000円																																											
送料及び振込手数料他	12,310 円	北海道 37,000×35人=1,295,000円																																											
②北海道自然体験	2,992,983 円	ボランティア 500円×55人(参加生徒50人+スタッフ5人)=27,500円																																											
旅費、講師・引率謝金	2,864,751 円																																												
事務用品等	43,942 円	※支出 5,406,643円-利息 182円-職員食事代 70,500円= 5,335,961円																																											
保険料、送料及び振込手数料他	84,290 円																																												
③元気ッズ卒業生ボランティア	44,392 円																																												
保険料・郵送料等	44,392 円																																												
合 計	5,406,643 円																																												

年度	24	会計	一般会計			単位:千円							
款	10	項	6	目	1	細事業名	ロードレース大会 (歌垣の郷ロードレース大会)				所属	生涯学習課	
目名称							保健体育総務費						
目の決算額						37,170						決算書頁	
決算額						3,963							
(予算額)						( 4,000 )						145	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 4 章			個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			基本計画 第 2 節			生涯学び楽しめる環境の充実	
<p>1 事業概要</p> <p>歌垣の郷ロードレース大会 「しろいし」を全国的に知名度を高めるため、歌垣の郷ロードレース大会を開催し町のPR活動と活性化を図る。</p> <p>① 大会開催日：平成25年3月17日(日) (毎年3月第3日曜日)</p> <p>競技種目：日本陸連公認コース10kmの部・5kmの部・3kmの部・2kmの部・ファミリージョギングの部 合計5種目 13競技を実施</p> <p>※参考 競技申込者：第1回・769名 第2回・985名 第3回・1,115名 第4回・1,503名 第5回・2,104名 第6回・2,014名 第7回・2,185名 第8回・2,343名 第9回・2,324名 第10回・2,946名 第11回・2,522名 第12回・2,718名 第13回・2,776名(平成19年度) 第14回・2,788名(平成20年度) 第15回・2,701名(平成21年度) 第16回・2,814名(平成22年度) 第17回・2,720名(平成23年度) 第18回・2,784名(平成24年度)</p> <p>② 企画・運営：実行委員会形式による大会の企画・運営 実行委員会の構成メンバー：委員長はじめ総勢21名で構成(陸上関係者・学校・体育指導委員等)</p> <p>2 事業実績</p> <p>13.委託料 3,962,725円 (歌垣の郷ロードレース大会実行委員会へ委託)</p> <p>① 第18回大会は、県内外から2,784名の参加申し込みがあり、好天に恵まれ多くの選手参加(2,467名)により盛大のうちに終了することができた。</p> <p>② 実行員会を12月から3月まで計4回開催(12/4、12/18、2/19、3/26)</p> <p>※総事業費(参加料等他収入含む) 7,321,608円</p> <p>3 事業効果</p> <p>ロードレース大会を開催することにより、町の活性化や町のPR等、町民へのスポーツ意識の高揚を図ることができた。 また、レースへの町民の参加も多く、町民の健康増進が図られた。</p>													

年度	24	会計	一般会計			単位:千円						
款	10	項	6	目	2	細事業名	町スポーツ大会費				所属	生涯学習課
目名称	保健体育総務費											
目の決算額	37,170					財源内訳						決算書頁
決算額	1,142 (予算額) ( 1,173 )					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	145	
(予算額)												
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 4 章			個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			基本計画 第 2 節		生涯学び楽しめる環境の充実	
1 事業概要												
事業名	自治公民館対抗男子ソフトボール大会					ファミリースポーツデー						
開催日	平成24年9月9日(日)					平成24年11月3日(祝)						
会場	総合グラウンド他9会場					むつごろうカントリークラブ						
内容	72チームを8チーム9クラスに分けてのトーナメント方式で、男子ソフトボール競技大会を実施。					ゴルフ初心者教室、ゴルフ飛距離測定、ゴルフニアピン、パットゴルフ、グラウンドゴルフ、ベタンク、紙飛行機を実施						
2 事業実績												
参加人数等	89公民館中72チーム(白石47、福富9、有明16)、8割の参加。人数にして選手約千人。					全体で72名参加。そのうち子供は20名。参加者は複数の種目に参加しています。						
事業費	8.報償費 336,045円 11.需用費 569,928円 16.原材料費 22,540円					9.旅費 14,000円 11.需用費 29,500円 14.使用料 169,880円						
事業費計	928,513円					213,380円						
3 事業効果												
平成17年の合併から、8年目で全町的スポーツ大会を実施できた。会場ごとに選手や応援者の親睦が図られた。					合併直後からむつごろうカントリークラブで芝生を使った競技を行ってきたが21年度から会場全体を使い町民のスポーツ推進が図られた。							

平成24年度当初予算しろいしみのり枠について

1. しろいしみのり枠の設定の主旨等 当初予算の編成方針の中で、平成24年度のみ措置として、下記の目的に対する経費で、一般経費・特別経費、新規事業・継続事業を問わず事業費の増額も含めて、しろいしみのり枠(特別枠)を設定し、各課において知恵を絞りだした要求事業の中から、予算編成過程において選定した。

- ①白石町のイメージや知名度を高める
- ②公共施設の統廃合など市町村合併効果を更に高める
- ③将来的な経費を逡減させる
- ④その他既存の事業にない、戦略的なもの

(単位:千円)

2. 対象事業

予算科目	事業名	新規・継続 の区分	決算額	財源内訳			所属課
				国県支出金	その他	一般財源	
2.総務費・1.総務管理費	①公用車管理費(電気自動車購入)	新規	5,047	870		4,177	財政課
2.総務費・2.徴税费	②ご当地ナンバー作成事業	新規	1,290			1,290	税務課
4.衛生費・1.保健衛生費	③しろいし食育まつり事業	新規	1,892	791	60	1,041	保健福祉課
7.商工費・1.商工費	④プレミアム付き商品券発行事業	継続	3,994			3,994	産業課
	合 計		12,223	1,661	60	10,502	



単位:千円

年度	24	会計	一般会計			細事業名	公用車管理費(電気自動車購入)	所属	財政課		
款	02	項	01	目	05						
目名称	財産管理費					資源内訳			決算書頁		
目の決算額	616,578					国庫	県費	地方債		その他	一般財源
決算額 (予算額)	( 5,047 5,051 )					870				4,177	50
白石町総合計画 人と大地がうるおい輝く豊穡のまち			基本構想 第 章			自然環境と共生するまち【自然環境の保全】			基本計画 第 2 節		環境にやさしいまちづくり

1 事業概要

白石町地域新エネルギービジョンにおいて、クリーンエネルギー自動車の導入構想を策定し、地球にやさしい電気自動車を国の事業であるクリーンエネルギー自動車等導入促進対策補助金を受け購入した。  
電気自動車の最大の特徴は、地球温暖化の原因となる、二酸化炭素排出量がゼロであるということである。このことを、多くの町民に知ってもらい、電気自動車の良さをひろめるため、電気自動車で町の行事に出向くなど住民に普及啓発を行うことを目的としている。

2 事業実績

・公用車の中で、一番古い公用車を1台廃車し、クリーンエネルギーの電気自動車(EV)を購入した。

収入	クリーンエネルギー自動車等導入促進対策費補助金(電気自動車等導入費補助事業)		
	【補助金額実績】	電気自動車分	770千円 … (購入費用-基礎額) × 1/2
		充電設備分	100千円 … 本体価格 × 1/2
		合計	870千円

支出	15. 工事請負費	公用車充電器設置工事	751 千円
	18. 備品購入費		4,296 千円

3 事業効果

・電気自動車の普及啓発をはかり、二酸化炭素の排出量の削減を図る。

年度	24	会計	一般会計			細事業名	ご当地ナンバー作成事業	所 属	税務課	
款	2	項	2	目	2					
目 名 称	賦課徴収費					財 源			決算書頁	
目の決算額	28,226					国 庫	県 費	地 方 債		そ の 他
決 算 額	1,290									1,290
( 予 算 額 )	( 3,880 )									
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		基本構想 第 5 章		参加と交流で築く開かれたまち【町民参加】			基本計画 第 2 節		健全な行財政運営の推進	

1 事業概要

本町の特産物PRキャラクター「しろいしみのりちゃん」を取り入れた課税標識(ナンバープレート)を交付することにより、本町産業のPRを行う。走る広告塔として知名度アップによる地域振興、観光振興、運転マナーの向上などの効果が期待できる。  
また、現在交付されている課税標識をみのりちゃん入りの課税標識と交換し、旧町名の課税標識(ナンバープレート)をなくすことで、町民の旧町意識を取り払う。

- 本町の課税標識のデザインに「しろいしみのりちゃん」を取り入れ、現在交付しているノーマルタイプからオリジナルタイプに切り替える。
- オリジナルタイプのナンバープレートを平成24年12月21日から交付。
- 今後の軽自動車の標識は、オリジナルタイプ「みのりちゃんナンバープレート」の交付に統一する。ノーマルタイプの返納があれば無償で交換する。
- 作成する課税標識は白石町が標識を交付している(①原付バイク1種②原付バイク2種甲③原付バイク2種乙④農耕用小型特殊⑤小型特殊自動車⑥原付ミニカー)すべての種類のナンバープレートを作成。

2 事業実績

種別	色	作成枚数	交付枚数(H25年6月末まで)
① 原付バイク1種	(白色)	1,900 枚	113 枚
② 原付バイク2種甲	(黄色)	200 枚	9 枚
③ 原付バイク2種乙	(桃色)	150 枚	16 枚
④ 農耕用小型特殊	(農緑)	3,800 枚	126 枚
⑤ 小型特殊自動車	(特緑)	150 枚	8 枚
⑥ 原付ミニカー	(青色)	100 枚	10 枚
合計		6,300 枚	282 枚

予算額	3,880,000円
入札日	平成24年7月30日
落札業者	巢守金属工業株式会社
契約額	1,289,925円(税込)
ナンバープレート交付日	平成24年12月21日



3 事業効果

- ① 白石町の走る広告塔として知名度のアップ及び特産品のPRとなった。
- ② 旧町ナンバーをなくすことで白石町の一体性につなげる。
- ③ 課税標識(ナンバー)を付けていない課税客体(農耕用など)に付けてもらうことで実態に沿った登録の見直しをする。

年度	24	会計	一般会計			単位:千円					
款	4	項	1	目	1	細事業名	しろいし食育まつり事業費			所属	保健福祉課
目 名 称	保健衛生総務費										
目の決算額	162,717					財源内訳					
決算額	1,892 (予算額) ( 1,893 )					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	決算書頁
							791		60	1,041	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 2 章			健やかで安心できるやさしいまち			基本計画 第 3 節 保健・医療体制の充実		

- 1 事業概要 「食で育む心豊かなまち“しろいし”」を視点に住民が健康で豊かに過ごし健康と食の安全安心、食と農について考える機会を作るため「しろいし食育まつり」を開催した。
- 2 事業実績
- ・ご当地グルメコンテストの実施、表彰式
  - ・食育講演 料理研究家 コウケンテツ氏 「キッチンからはじまる家族の絆」
  - ・ご当地グルメ入賞作の試食会
  - ・郷土料理試食コーナー ・特産品販売コーナー ・食農教育状況写真展示
  - ・体験コーナー (血圧、体脂肪、血管年齢測定 咀嚼力判定 手作りランチョンマット 食育ゲーム)

単位:円

節	細節	実績額	備 考
報償費	謝礼及び謝金	1,319,280	講師謝金 協力者謝礼 ご当地グルメコンテスト入賞賞金等 審査員報償費
需用費	消耗品費	506,094	試食用食材 ご当地グルメ入賞作発表用 体験用消耗品
	印刷製本費	59,850	ご当地グルメ募集チラシ ポスター印刷代
役務費	その他役務費	6,720	法被クリーニング
計		1,891,944	

- 3 事業効果 住民の食の安全安心、健康に対する意識の向上が図られ食育推進につながった。また、町内外から来場者があり、白石町のPRを図った。

年度	24	会計	一般会計			単位:千円					
款	7	項	1	目	1	細事業名	プレミアム付き商品券発行事業			所属	産業課
目 名 称	商工振興費					財源内訳					
目の決算額	106,094					決算書頁					
決算額	3,994 (予算額) ( 4,000 )					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	109
(予算額)											
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章		活気と魅力ある豊かなまち			基本計画 第 2 節		商工業の振興	
<p><b>1 事業概要</b>            地域経済、地域商工業の活性化と東日本大震災による消費自粛ムードを払拭し、町民の消費意欲を喚起するきっかけをつくり、また、商品券販売による義援金を被災地の復旧・復興にあてるため、元気らしい商品券～義援金付き東日本復興支援事業～を発行する白石町商工会に対して、プレミアム部分に補助金を交付し、個人消費の喚起及び地域経済の活性化を図り、地域振興に資する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○事業主体 白石町商工会</li> <li>○発行総額 44,000,000円【うちプレミアム分4,000,000円】</li> <li>○販売額 現金10,000円で11,000円分の商品券(500円券22枚で1セット)</li> <li>○商品券販売日 平成24年7月14日(土)7月15日(日) 白石町役場、福富ゆうあい館、有明公民館</li> <li>○商品券使用期間 7月14日～12月31日</li> </ul> <p><b>2 事業実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品券完売</li> <li>・商品券取扱い事業所 白石町内 192事業所</li> <li>・換金額 43,935,000円</li> <li>・町補助金額 3,994,000円 (プレミアム分)</li> <li>・その他 事務的経費については町商工会が負担 283世帯で購入(1世帯当たり 約141千円)</li> </ul> <p><b>3 事業効果</b>            白石町内の購買力を促進し、消費拡大と地域商工業の活性化、併せて白石町地域経済の振興が図られた。また、義援金として復興支援金が被災地へ送られた。</p>											